

一一 ロンドン国際経済会議

3

「国際経済財政会議註釈附議題案」

國際經濟財政會議註釋附議題案

昭和八年二月

序

昨年六月十六日ヨリ七月九日迄開催セラレタル「ローザンヌ」會議ニ於テ世界不況打開ノ爲國際經濟財政會議ヲ開催スベキ旨ノ決議採擇セラレ且之ガ準備トシテ日、英、佛、獨、伊、白、米ノ諸國委員ノ外國際聯盟ノ任命スル財政及經濟専門家並ニ國際決濟銀行ノ代表者等ヲ加ヘテ専門家準備委員會ヲ組織シ前記國際會議ニ於テ審議セラルベキ諸問題ノ準備研究ニ當ラシムルコトトナレリ前記準備委員會ハ昨年十月三十一日ヨリ十一月七日迄第一回會合ヲ又本年一月九日ヨリ十九日迄第二回會合ヲ開キテ討議シタル結果本會議ノ用ニ供スベキ註釋附議題案ノ作成ヲ了シ一先ヅ其ノ事業ヲ完了セリ

本書ハ右註釋附議題案 (C.48. M.18. 1933II/conf.M.E.) ノ譯文ナリ

目 次

専門家準備委員會議長ヨリ會議組織ノ爲ノ理事會委員會
議長宛書翰 ······ 一

第一部

A 緒言 ······ 三

B 會議ノ一般的「プログラム」 ······ 七

C 議題 ······ 一三

第二部 議題ニ對スル註釋 ······ 一五

第一、貨幣及信用政策 ······ 一五

(一) 自由ナル國際金本位恢復ノ條件 ······ 一六

(二) 一般的金本位恢復ニ先チ遂行セラルヘキ通貨政策 ······ 一八

(三) 金本位ノ機能 110

(イ) 政治的當局ト中央銀行トノ關係 一一一

(ロ) 通貨準備 一一一

(1) 準備率ノ低下 一一一

(2) 金爲替本位 一一一

(3) 金節約ノ他ノ方策 一一一

(4) 通貨準備ノ分配 一一一

(八) 信用政策ニ於ケル中央銀行ノ協力 一一一

(四) 銀 一一一

(1) 物價 一一一

(2) 物價ト生産費トノ間ノ不均衡 一一一

(二) 均衡ヲ恢復スベキ方策 一一一

(五) 第二、物價 一一一

(一) 物價ト生産費トノ間ノ不均衡 一一一

(二) 均衡ヲ恢復スベキ方策 一一一

(六) 第三、資本移動ノ再開 一一一

(一) 外國爲替ニ關スル制限ノ撤廢 一一一

(2) 資本移動 一一一

(1) 短期債務 一一一

(2) 長期債務 一一一

(七) 第四、國際貿易ノ制限 一一一

(一) 經濟的原因及影響 一一一

(二) 爲替制限、清算協定等 一一一

(三) 間接ノ保護手段 一一一

(四) 制限撤廢ノ可能性 一一一

(八) 第五、關稅及條約政策 一一一

(一) 關稅政策 一一一

- (1) 關稅引上ノ停止 五一
- (2) 關稅ノ引下 五三
- (3) 關稅問題ノ特殊事項 五三

(四) 處置方法	五五
B 最惠國條款	五七
(イ) 恒久的例外	五八
(ロ) 一時的例外	五九
第六、生產及貿易ノ組織化	六一
(一) 經濟協定	六二
(二) 小麥	六三
(三) 其他ノ生產品	六四
(四) 運輸	六五

附錄 專門家準備委員會名簿(歐文)

専門家準備委員會議長ヨリ會議組織ノ爲ノ理事會

委員會議長宛書翰

以書翰啓上致候陳者本議長ハ専門家準備委員會ガ「ローザンヌ」會議決議ニ依リ國際聯盟理事會ヨリ受領セル委任ニ從ヒ作成シタル貨幣經濟會議用註釋附議題案ヲ茲ニ貴下ニ送付スルノ光榮ヲ有シ候

準備委員會ハ差シ當リ以上ニ依リ其ノ任務ヲ果シタルモノト思考致候然レ共委員會ハ貴下ガ千九百三十二年十一月二十四日附貴翰ニ於テ豫見セラレタル如ク事情ニ依リ適當ト認ムル場合ニ於テハ追補的意見書ヲ提出スベキコトヲ留保致シ候

本議長ハ尙此ノ機會ニ國際商業會議所ガ討議セラレタル全問題ニ關スル暫定的覺書ヲ準備委員會ニ提出シ來リタル旨貴下ニ及通告候委員會ハ其ノ事業ニ當リ右覺書ヲ有益ナル參考ト爲スコトヲ得タルモノニ俟 敬具

千九百三十三年一月十九日「ジュネーヴ」ニ於テ

専門家準備委員會議長「トリップ」

第一 部

A 緒 言

専門家準備委員會ハ來ルベキ貨幣經濟會議ノ爲註釋附議題案ヲ作成スルノ任務ヲ與ヘラレタリ右任務ノ遂行ニ當リ我等ハ國際聯盟理事會ヨリ送達セラレタル委託ノ條項及「ローザンヌ」會議最終議定書ニ記載セラレタル或ル豫備的討議ヲ指針トセリ「ローザンヌ」會議ハ賠償金支拂ノ緊急問題ニ關シ徹底的ノ決定ヲ爲シタル後國際聯盟ニ對シ「現在ノ世界恐慌ノ原因ニシテ之ヲ長引カシムルコトアルヘキ他ノ經濟的及財政的困難ヲ解決スベキ」國際會議ヲ招請センコトヲ要請シタリ「ローザンヌ」ヨリノ右「メツセーデ」ニ於テ我等ハ其ノ一般的受任事項ニ付最モ明瞭ナル指示ヲ認識セリ

我等ハ解決ヲ要スル問題ヲ敍述スルニ先チ世界ノ當面セル事態ノ重大ナルコトニ付注意ヲ喚起セントス

失業ハ最近國際勞働事務局ニ依リ少ク共三千萬ノ勞働者ニ達スト見積ラレタリ右巨大ノ數字（勞働者ノ家族又ハ被扶養者ヲ包含セズ）サヘモ恐らくハ見積リ過少ナルベシ右ノ如キ割合ノ失業者

ヨリ生スベキ苦患及徳性敗壞ハ恐ルベキモノナリ

卸賣物價（金ニテ表示セラレタル）ハ一九二九年十月以來約三分ノ一低落セリ原料品ノ價格ハ平均五割乃至六割低落セリ十二月中旬「ヴィニペッグ」ニ於テ小麥ノ價格ハ過去四世紀間未だ嘗テ何レノ市場ニ於テモ記録セラレタルコトナキ最低價格ニ低落セリ右ノ如キ物價下落ハ經濟機構ニ深甚ナル混亂ヲ招來シ各種ノ生產要素ノ費用ノ調整ヲ全ク不可能トシ、企業ヲ一般的ニ収益ナキモノトシ事實上一切ノ世界市場ヲ著シク攪亂シタリ

農產物及他ノ原料品ノ世界貯藏量ハ依然増大シツツアリ一九三二年ノ世界貯藏量ノ指數ハ一九二五年ノ二倍ナリキ巨額ノ貯藏量ハ斯クノ如ク主要市場ノ或ルモノヲ壓迫シ正常ナル物價ノ調整ヲ困難ナラシメツツアリ

工業生產ハ著シク減退シ特ニ資本設備ヲ生產スル產業ニ於テ甚シ一九三二年末製造能力ノ僅ニ一割ヲ運轉シツツアリタル米國鐵鋼業ノ狀態ハ或ル事例ニ於ケル減退ノ深度ヲ示スモノナリ

貨物ノ國際的流通ハ貨幣ノ混亂ニ依リ妨害セラレ、政府ノ新ナル干渉ノ增加ニ依リ制限セラレテ信ジ難キ程ニ減少セリ一九三二年第三「四半期」ニ於ケル世界貿易ノ總價額ハ一九二九年同期ノ額ノ約三分ノ一ニ過ギズ最近三年間ノ減退ハ繼續的ナリキ

加之外國貿易品ノ數量モ少ク共二割五分減少シタルモノノ如シ右ハ未曾有ノ減少ナリ

物價ノ下落並ニ生產額及貿易額ノ減少ノ結果トシテ多數國ニ於テ國民所得減少シ其ノ割合四割ヲ超過スト見積ラル其ノ結果政府ノ歲入モ激減シタルガ他方歲出ハ之ニ相應ジテ減少ヲ示スコトナシ其ノ必然ノ結果トシテ豫算ノ不足繼續シ或ル場合ニ於テハ未曾有ノ割合ニ達セリ

現在自由ニシテ管理ナキ金本位貨幣制度ヲ維持スルモノハ僅少ナリ殆ンド世界ノ半數ノ國ハ金本位ヲ離脱シ約四十國ニ於テハ爲替ノ制限實施セラレタリ
通貨ノ混亂、物價ノ低落及貿易ノ減少ハ多數ノ國（大部分ニ非ズトルモ）ノ當面セル廣汎且困難ナル債務ノ問題ヲ激化セリ現狀ヲ以テシテハ其ノ輸出貿易ノ總額ガ對外債務支拂ノミニ要スル金額ニサヘモ足ラザル國アリ

絞上ノ事實ハ經濟財政界ガ如何ナル崩壊狀態ニ達セルカヲ示スモノナリ更ニ事態ノ悪化アリトセバ憂慮禁ズル態ハザルモノアリ幸ニシテ或ル方面ニ於テハ最近改善ノ或ル曙光ヲ示スニ至レリ即チ殆ンド何レノ國ニ於テモ證券市場ハ惡材料アルニモ拘ハラズ過去數ヶ月間ニ於テ或ル程度迄堅實ナリキ「ローザンヌ」會議後ノ多少ノ恢復ニ次デ退歩アリタルトキニ於テモ證券市場ハ商品市場トハ異リ其ノ獲得シタル地歩ノ全部ヲ失フコト無カリキ右ハ投資ノ危険ヲ負擔スル人々ガ一般

ニ貨幣狀態ノ改善、經濟ノ技術的調整及信賴ノ回復ニ依リ經濟界ノ眞ノ好轉ガ可能トナルベシト思考シツツアルコトヲ示スモノナリ

然レ共同復ハ斷乎タル措置ヲ講ジ復興ヲ計ルニ非ザレバ遲ク且狹小タルベシ三年ニ亘ル世界的混亂ハ正常取引ニ對スル廣汎ナル制限網ヲ作レリ國際通商界ニ於テ禁止、輸入額割當、清算協定、爲替制限（最モ廣ク採用セラル制限ノ或ルモノヲ舉グルニ過ギズ）ハ事業計劃及個人ノ進取心ヲ阻害ス防衛ヲ目的トシ及多クノ場合ニ於テハ避ク可カラザル貨幣及財政ノ緊急ノ必要ニヨリ執ラレタル此等ノ措置ハ事實上經濟戰爭ノ狀態ニ發展シタリ右緊迫ノ存在スルハ貿易界ノミニ非ズ困難ナル國際貨幣關係ニ於テモ將又世界資本市場ニ於テモ自由ナル國際協力ハ廢レテ國家的利益ヲ保護セントスル複雜ニシテ面倒ナル制限之ニ代レリ充分ニシテ永續スベキ回復ヲ實現セント欲セバ猖獗ヲ極ムル諸國民經濟間ノ抗争ハ解決セラレザルベカラズ

右目的達成ノ爲採用セントスル措置ハ諸國政府ガ倫敦ニ於テ處理セントスル問題ナリ之ヲ管約スレバ必要ナル「プログラム」ハ經濟的軍備撤廢ナリ經濟的和解ニ向フ運動トシテ休戰條約ハ「ローザンヌ」ニ於テ調印セラレタリ倫敦會議ハ平和條約ヲ起草スルコトヲ要ス此ノ決定的企畫ニシテ失敗センカ國家自給自足主義ノ世界的採用ヲ見ルベク經濟ノ發達ノ阻止セラルベキコト必然ナ

ルベシ右ノ如キコトアラバ國際財政ノ全機構ハ根底ヨリ動搖スベク生活程度ハ低下スベク我等ノ見ルガ如キ社會組織ハ殆ンド存續スルコトヲ得ザルベシ若シ右事態ノ發生スルコトアラバ其ハ不可避ノ自然法則ノ結果ニ非ズシテ政治的及經濟的國際秩序ノ必要ナル保障ヲ考案セントスル人類ノ意思及智慮ノ失敗ノ結果ナリ政府ノ責任ハ明白ニシテ免ルルコト能ハズ

B 會議ノ一般的「プログラム」

政府ニ於テ執ルベキコト必要ナリト思考セラルル復興ノ「プログラム」ハ後述ノ如シ右「プログラム」中政府間債務問題ハ我等ノ受任事項ノ範圍外ナルヲ以テ之ヲ含マシムルコト無カリキ尤モ我等ノ見ル所ヲ以テスレバ本問題ハ解決セラレザルベカラズ又其ノ解決ハ財政、經濟及通貨ノ安定ニ及ボスベキ債務支拂ノ攬亂的影響ニ關スル將來ノ不安ヲ世界ヨリ除去スル所以ナリ右解決アルカ又ハ右解決ノ確固タル見込アルニ至ル迄ハ右債務ハ經濟及財政ノ復興ニ取り蹤エ難キ障壁トシテ殘存スベシ仍テ我等ハ右問題ニ關スル商議ノ速ニ再開セラレ成功センコトヲ最モ重要ト認ム一九三二年七月十五日ノ「ローザンヌ」決議ニ掲ゲラレタル本會議ノ主要問題ハ左ノ如シ

(イ) 財政問題

貨幣及信用政策

爲替ノ困難

物價ノ水準

資本ノ移動

(ロ) 經濟問題

生産及交易ノ改善、特ニ左記ニ注意ヲ拂フコト

關稅政策

輸出入ノ禁止及制限、輸入割當及其ノ他ノ貿易障碍

生産者協定

右問題ヲ論ズルニ先チ問題ノ諸要因ノ間ニ存スル密接ナル聯關係ヲ強調スルコト必要ナリ我等ノ判断ニ依レバ個別ノ措置ヲ以テシテハ顯著ナル進展ヲ爲スコト能ハザルベシ我等ハ世界ノ諸國政府ハ全局面ニ亘リ協同的行動ニ依リ大解決ヲ達成スルノ決心ヲ爲スコトヲ要スト信ズ經濟關係ノ方面ニ於ケル行動ハ貨幣及財政上ノ行動ニ俟ツコト大ニシテ貨幣及財政上ノ行動ハ經濟關係ノ方面ニ於ケル行動ニ俟ツ所大ナリ何レカノ方面ニ於テ進展ヲ示サンガ爲ニハ兩方面ニ於ケル共同的措置ヲ缺クベカラズ我等ハ大體「ローザンヌ」會議決議ニ掲グラレタル順序ニ從フコトト爲セルモ

特定ノ分類方法ヲ特ニ重要視スルモノニ非ズ

協同的行動ノ必要ヲ力説スルモ會議前ニ於テハ何物ヲモ達成シ難シト云フニハ非ズ却テ會議ノ成功ハ會議參加國政府ガ會議前ノ豫備的商議ニ於テ有スル熱心ニ依存スルコト大ナルモノアルナリ必然複雜ニシテ多方面ニ亘ルベキ會議ニ於ケル討議ノ眞ノ一般的成功ノ見込ハ右會議ニ至ル迄ノ期間ニ於テ豫備的商議ニ依リ相互的讓歩ノ爲ノ道程ヲ開拓スルコトアラバ大ニ増大セラルベシ

政府ノ考究スペキ主要問題ヲ要約スレバ左ノ如シ

一、貨幣及信用政策ノ方面ニ於テ其ノ目標トスル所ハ金本位ヲ廢棄セル國ガ參加シ得ベキ有效ナル國際的貨幣本位ノ恢復ナラザルベカラズ勿論各國政府ハ右標準ヲ採用シ得ベキ時期及條件ヲ決定スルノ自由ヲ保持スルコトヲ要スベク我等ハ最モ慎重ナル準備ナクシテ其ノ採用ヲ可能ナリトカ又ハ之ヲ採用スベキモノナリトカ提言セントスルモノニハ非ズ附屬ノ註釋ハ國際的金本位ノ恢復ガ實行可能トナルニ先チ満足セラレザルベカラザル幾多ノ經濟的並ニ財政的條件ノ存在スルコトヲ明瞭ニ示セリ加之金本位ノ恢復ガ再ビ瓦解スルニ至ルコト無カラシメンガ爲ノ有效ナル保障ヲ設定スルコト必要ナリ本問題ニ付テハ國際聯盟金委員會報告書中ニ示唆セラレタル勸告ノ方針ニ從ヒ中央銀行ノ協力ヲ以テ將來ニ於ケル物價ノヨリ大ナル安定ヲ確保スル爲如

何ナル措置ヲ執リ得ルカヲ研究スルコトヲ要ス

二、近年ニ於ケル物價ノ未曾有ノ低落ハ生産費及物價間ノ不均衡ヲ増大シ、一切ノ債務及固定費ノ現實的負擔ヲ著シク增加シ、事業ヲ益々収益ナキモノトシ、世界至ル所ニ永續的ニシテ不祥ナル失業者增加ヲ來セリ世界物價水準ノ或ル程度ノ上昇ハ甚ダ望マシク世界的恢復ノ第一徵候タルベシ本會議ハ右物價下落ニ對抗スベキ一切ノ可能ナル方法ヲ探究セントスベキコト疑無カルベシ考慮スベキ方法ノ一ハ事業ノ健全ナル擴張ヲ促進スル爲金融狀態ノ許ス限リ寛大ナル一般的信用政策ヲ繼續シ且之ヲ發展セシムルコトナルベシ

之ト同時ニ考究ヲ要スベキハ（特ニ市場ヲ壓迫スル大ナル貯藏量ノアル重要產品ノ場合ニ於テハ）輸出又ハ生産ノ制限ニ依リテ物價ノ改善ヲ達成シ難キヤ否ヤノ點ナリ其ノ耕作ガ人類ノ大ナル部分ノ活計ト爲リ居ル小麥ニ付テハ右措置ハ特ニ重要ナルコトアルベシ
勿論右ノ如キ方法ニ依リ得ラルベキ物價ノ引上ハ結局現時ノ制限撤廢及財政的信賴ノ恢復ニ依リ生ズルガ如キ貿易ノ一般的改善ニ依リテノミ維持セラルベキモノナリ

三、爲替制限ノ撤廢ハ世界ノ恢復ノ爲必須ノ條件ナリ右目的ノ爲關係國政府ハ其ノ豫算及經濟組織ノ安全ヲ確保スルニ必要ナル國內的措置ヲ執ルコトヲ要ス然レ共或ル場合ニ於テハ何時ニテ

モ引上げラルベキ短期外債ガ多額ニ存在スル限り右國內的努力ノミニテハ不充分ナリ又或ル場合ニ於テハ長期外債ニ對スル支拂サヘモ大ナル困難ヲ惹起スルモノナリ此等ノ困難ハ慎重ナル處理ヲ必要トス目標ハ外國貸付市場ノ信賴ヲ恢復スルモノナラザルベカラズ而シテ右ハ將來ノ物價水準ニ俟ツコト大ナリ

若シ適當ナル手段ガ前記ノ諸點ニ付執ラルニ於テハ債權國市場ハ近ク貸付ヲ再開スルニ至ルベキコトヲ期待シ得ベシ尤モ國際的信賴ノ一般的崩壊ニ鑑ミ其ノ進展ハ遲々タルモノナラン自由ナル爲替ノ恢復ハ財政的信賴ノ恢復及國際信用ノ正常ナル流動再開ニ極メテ必要ナルヲ以テ諸國政府ハ之ヲ促進スルコト能ハザルヤ否ヤヲ考究スルコトヲ要ス右目的ノ爲現在ノ遊資ヲ活潑ナル運行ニ導キ且援助ヲ要スル國ニ對シ適當ナル條件ノ下ニ安定用ノ信用ヲ供與スル爲或ル種ノ方法ヲ講ジ得ベシ

四、最後ニ國際貿易ヲ一層自由ト爲スコトヲ要ス現在ノ恐慌ノ最モ顯著ナル特徵ノ一ハ世界ノ貿易ガ價額ニ於テノミナラズ數量ニ於テモ減少シタルニアルコトハ既ニ記述シタルガ如シ右減少ハ近年貿易ノ上ニ加ヘラレタル制限網ノ增大ニ依リ惹起セラレ且之ニ依リ激化セラレタルモノナルコトハ疑無シ各國ハ輸入ヲ制限スルコトニ依リテ其ノ經濟ノ防衛ヲ計ラントスル處右制限

ハ結局ニ於テ其ノ輸出減少ヲ伴フモノナリ一切ノ國ハ賣ルコトニ努メ買フコトヲ欲セズ右政策ハ必然國際貿易ヲ一層ノ麻痺ニ導クモノナリ諸國政府ハ商品ノ正常ナル交易ノ再建ニ努ムルコトヲ要ス

第一ニ恐慌ノ結果トシテ課セラレタル緊急措置（禁止、輸入額割當等）ヲ漸進的ニ緩和シ成ル可ク速ニ之ヲ撤廢スル爲一般的協定ヲ締結スルノ目的ヲ以テ一切ノ努力ヲ盡サザル可ラズ之ト同時ニ諸國政府ハ過當ノ關稅率ヲ示ス最近ノ經濟的傾向ニ再検討ヲ加ヘ將來ニ於ケル關稅政策ノ緩和及安定ノ爲諒解ヲ成立セシムルコト必要ナリ右目的ノ努力ハ通貨ノ安定ト緊密ナル關係ヲ有ス蓋シ國際貨幣制度ハ國際經濟組織ヲ基礎トスルニ非ザレバ之ヲ維持スルコト不可能ナレバナリ

敍上ハ我等ガ本會議ニ於テ處理スベキ問題ノ大綱ト認ムルモノナリ

解決ノ爲ノ詳細ナル示唆ト技術的困難ノ指示トヲ含ム註釋附議題ハ第二部トシテ掲グラル本「プログラム」ノ作成ニ當リ我等ハ現在ノ不況及全世界ノ大ナル負擔タル失業ニ對シ有效且永續的ノ救濟方法ヲ發見セントスル希望ニ依リ支配セラレタルモノナルノ事實ヲ強調セント欲ス本問題ニ關スル部分的救濟ハ成功ヲ齋スコトナシト信ズ必要ナルハ世界再建ノ總括的「プログラ

ム」ニシテ成ル可ク速ニ之ヲ實行シ今ヤ恢復ニ向ヒ動キツツアル機運ヲ一層熾ナラシムルコトヲ要ス我等ハ爰ニ右ノ如キ「プログラム」ヲ提出スルモノナリ我等ハ右「プログラム」ノ採用ハ世界ヲ現在ノ困難ヨリ一舉ニシテ救出スコトヲ得ルモノナリトノ印象ヲ與ヘントスルモノニ非ズ然レ共諸國政府ニシテ之ヲ實行シ且會議ノ範圍外ナル政治問題ヲ解決セントスルニ於テハ信賴ト繁榮ハ之ヲ回復シ得ベシト信ズ

C 議　題

- 一、貨幣及信用政策
- 二、物　價
- 三、資本移動ノ再開
- 四、國際貿易ノ制限
- 五、關稅並ニ條約政策
- 六、生產及交易ノ組織化

第二部 議題ニ對スル註釋

第一、貨幣及信用政策

「ローザンヌ」會議ハ通貨ヲ健全ナル基礎ノ上ニ恢復スルコトノ必要ヲ特ニ強調シタリ右ニ關シテハ満足ナル國際的貨幣本位ヲ恢復スルコト特ニ重要ナリ金本位ヲ措イテハ世界的ニ受諾シ得ラルベキ他ノ本位制無キヲ以テ世界會議ハ自由ナル金本位ノ恢復ガ成果ヲ收メ得ベキ條件ヲ検討スルノ要アルベシ我等ノ見ル所ヲ以テスレバ左ニ詳細ニ論ゼラレタル諸條件ノ中最モ不可缺的ナルモノハ販賣價格ト生産費トノ間ノ均衡ノ恢復竝ニ將來ニ於ケル一切ノ世界的價值尺度ニ固有ナルベキ合理的程度ノ物價安定ノ維持ノ二ナリ

特定ノ一國ニトリ金本位復歸ノ可能ナルベキ時期竝ニ右復歸ヲ危險無ク遂行シ得ベキ平價ハ必然的ニ該特定國竝ニ外國ニ於ケル當時ノ條件ノ如何ニ懸ルベシ右ノ問題ハ各關係國ノ主務當局ニ依リテ専ラ決定セラルベキモノナリ

左ノ諸章ハ貨幣問題ニ關スル會議ノ事業ヲ容易ナラシムベシト思考セラルル一般的性質ノ示唆ヲ述べタルモノナリ右示唆ハ或ハ協調的活動ニ依ルニ非ザレバ實現シ得ザルモノアリ又或ハ各國ノ

箇別ノ努力ニ俟ツモノアルコトハ後記ノ如シ

(一) 自由ナル國際金本位恢復ノ條件

(イ) 我等ハ既ニ緒言ニ於テ言及シタル點即チ今日尙懸案タル若干ノ政治的大問題ノ解決ハ金本位復歸ノ決定ヲ爲スニ際シ大ナル躊躇ヲ爲サシメザルガ爲ニ缺ク可ラザル信賴ノ恢復ニ寄與スル所大ナルベキ事ヲ茲ニ再ビ確言セント欲シ

(ロ) 第二ニ現在不充分ナル通貨準備ヲ擁スル國ヲシテ其ノ準備ニ關シ満足ナル地位ノ恢復ヲ可能ナラシメンガ爲ニ若干ノ措置ヲ講ズルノ要アルベシ右ニ關シ左ノ事項ヲ示唆スルコトヲ得ベシ

- (1) 政府間債務ノ解決ハ右ニ關シ特ニ有益ナルベシ
 - (2) 貨物及勞務ノ移動ニ付合理的程度ノ自由ノ恢復
 - (3) 外國爲替市場及資本ノ移動ニ於ケル自由ノ恢復
- (ハ) 將來ニ於ケル金本位ノ良好ナル機能ヲ確保スルコトヲ目的トスル措置ニ關シ一般的諒解ノ存スルコト必要ナルベシ此種ノ協定ノ締結ハ啻ニ多數國ニ於ケル輿論ニ强大ナル影響ヲ及ボシ得ベキ要因タルノミナラズ又特定國ニ對シ健全ナル通貨經濟政策ヲ續行スル限り必要ナル準備ヲ

獲得シ及維持スルヲ得ベシトノ確信ヲ與フルモノナルベシ

(ニ) 然レ共國際的活動ガ如何ニ必要缺ク可ラザルモノナリトスルモ適當ナル國內的措置ノ執ラルコト無クンバ正常的經濟狀態ヲ恢復スルコト能ハザルベシ

故ニ各國ハ左ノ點ニ於テ國內的均衡ヲ實現スル爲必要ナル措置ヲ執ルノ用意ナカル可ラズ

- (1) 單ニ狹義ノ國家豫算ノミナラズ又公企業（鐵道等）ノ豫算並ニ地方官憲ノ豫算ノ歲出歲入ハ均衡セシメラルコトヲ要スベシ
- (2) 國內貨幣及資本市場ヲ健全ナラシメ及健全ナル狀態ニ維持シ且加フルニ萬難ヲ排シテ國家ノ歲入不足ヲ紙幣「インフレーション」ニ依リ補填スルコトヲ避クルコト必要ナルベシ

- (3) 國民經濟ニヨリ大ナル彈力性ヲ與フルコト必要ナリ蓋シ此ノ彈力性無クンバ國際貨幣本位ハ如何ニ改善サルルモ適當ニ機能スルコト能ハザルヲ以テナリ
- 我等ハ實際上ニ於テハ若干ノ國ハ其ノ自由ナル金本位復歸ガ他ノ多數國ノ行動ニ對シテ影響ヲ及ボスガ如キ重要ナル地位ニ在ルコトヲ認ムルモノナリ

我等ハ金物價ノ推移ノ不確實ナル限り既ニ金本位ヲ拋棄セル國ニトリ適當ナル爲替相場ニ依ル金本位復歸ニハ困難ノ存スルコトヲ認メザル者ニ非ズ過去十年間ノ經驗ハ過度ニ高キ又ハ過度ニ低

キ相場ニ依ル金本位復歸ハ國家的見地ヨリスルモ將又國際的見地ヨリスルモ重大ナル不利益ヲ齎ラスモノナルコトヲ示シタリ他方ニ於テ爲替ガ絶エズ變動ヲ受クルノ事實モ亦金物價水準ニ對シテ影響無キ能ハズ且金本位國ニ於ケル物價恢復ヲ助長セントスル貨幣及信用政策ヲ害スルモノナリ斯ノ如キ「デレムマ」ニ直面シテハ國際貨幣本位ノ恢復ヲ助長スベキ一般的恢復ヲ齎ラサンガ爲直チニ遂行セラルベキ最善ノ政策ヲ探究スルコト必要ナルベシト思考セラル

(二) 一般的金本位恢復ニ先チ遂行セラルベキ通貨政策

諸種ノ集團ニ屬スル諸國ニ於テ執ラルベキ各特別ノ措置ヲ考究スルコト有益ナルベシ

(イ) 自由ナル金本位ヲ有シ且豊富ナル通貨準備ヲ保有スル國ハ

- (1) 短期市場ニ於ケル低金利並ニ借換及其ノ他一切ノ可能ナル操作ニ依ル長期金利ノ引下ヲ以テ特徵トスル自由主義的ナル信用政策ヲ遂行スルコト
- (2) 市場ノ狀態及中央銀行規程ノ許ス限リ豊富ナル信用供給ヲ保證スルヲ目的トスル公開市場政策ヲ維持スルコト
- (3) 金ガ自由ニ國外ニ出ヅルコトヲ許スコト
- (4) 健全ナル海外投資ヲ容易ナラシムル爲資本ノ海外移動ニ對シ能フ限リ大ナル自由ヲ與フル

コト

ヲ要スベシ

(ロ) 金本位ヲ拠棄シタル國ニ於テハ

ヲ要スベシ

- (1) 通貨ノ對外價值ヲ國內的均衡恢復ノ爲ニ必要ナル水準以下ニ下落セシメ國際貿易ニ於テ一時的利益ヲ得ントスル諸國相互間ノ競争ヲ避クル様努力スルノ要アルベシ
- (2) 現在ニ於テハ爲替相場ハ投機的變動ノ爲ニ絶エズ攪亂セラレ國際貿易ヲ害ス新平價採用ニ先立ツ時期ニ於テハ通貨ヲ統制スル當局ハ外國通貨ノ賣買ニ依リ其ノ資力ノ許ス限リ投機ノ影響ニ基ク日々ノ變動ヲ緩和スルヲ可トスベシ斯ル措置ノ成功ハ他ノ市場ノ協力ニ依リ促進セラルベシ
- (ハ) 金本位ヲ拠棄シタルト否トヲ問ハズ爲替制限ヲ採用シタル國ニ於テハ

- (1) 成ル可ク速ニ右制限ヲ全部撤廢スルコト望マシカルベシ然レ共スル目標ハ何レノ場合ニ於テモ直チニ到達シ得ラルモノニ非ズスル場合ニ於テハ假令資本移動ニ付テハ右制限ヲ若干期間維持スルノ必要アリトスルモ外國貿易ニ適用セラルル制限ハ第一ニ緩和乃至撤廢スルノ要アルベシ(本問題ハ第三(一)ニ於テ其ノ總テノ方面ニ亘リ詳細ニ検討セラレタリ)

(2) 通貨ノ對外價値ガ下落シ居ル或ル場合ニ於テハ前記緩和ハ現在ノ平價拠棄ヲ必要ナラシムルコトアルベシ或ル國ニ於テハ爲替制限ハ其ノ求ムル目的ニ逆行セル結果トナルガ如キモノナリ實ニ公定爲替相場ガ經濟的ニ正當ト認メラル相場ヨリ高キ水準ニ維持セラル場合ニ於テハ常ニ總テノ輸入者ニ對シテハ一種ノ輸入獎勵金ガ與ヘラレ輸出者ニ對シテハ一種ノ輸出稅ヲ課セラルコトトナルナリ經驗ニ依レバ慎重ニ制限ノ漸次の緩和ヲ圖ルニ於テハ通貨ニ對スル國內ノ信賴ヲ維持スルヲ得ベキモノノ如シ但シスル場合豫算ヲ均衡セシメ「インフレーション」的傾向ニ抗スルコトハ先ツ第一ノ重要事ナリ右ニ付テハ各種ノ場合ニ適當ナル政策ヲ考究シ且之ヲ實施スル爲此等ノ諸國、國際聯盟ノ財政機關及國際決濟銀行ノ間ニ密接ノ關係ヲ保ツコト特ニ有益ナルベシ

巨額ノ對外債務特ニ短期債務ヲ有スル若干ノ國ニ付テハ政府ガ現ニ遂行シツツアル通貨政策ヲ變更シ得ルニ先チ右債務ノ問題ノ解決セラルコトヲ要ス我等ハ該問題ヲ更ニ後ニ考究スベシ

(三) 金本位ノ機能

國際金本位ノ恢復ヲ可トスル一切ノ主張ハ同時ニ現在ノ狀態ニ於テ同本位ノ良好ナル機能ノ爲必要ナル條件ヲ明カニセザルベカラズ

我等ハ如何ナル程度ニモセヨ通貨政策ノ問題ニ於ケル中央銀行ノ行動ノ自由ヲ制限シ又ハ其ノ責任ヲ制限スルガ如キ何等カノ手段ヲ執ルベシト提言セントスル者ニ非ズ左ニ掲グル示唆ハ金委員會報告書ト全ク一致スルモノニシテ右報告書ハ我等ノ贊同スル所ナリ右報告書ハ又國際決濟銀行理事會ニ依リ是認セラレタルモノナリ諸國政府ハ恐ラク會議ニ於テ最終的決定ヲ爲スニ先チ此等ノ問題ニ關シ各其ノ中央銀行ニ諮詢スルノ機會ヲ見出スベシ

(イ) 政治的當局ト中央銀行トノ關係

我等ハ會議ガ諸中央銀行ヲ一切ノ政治的影響ヨリ獨立ナラシムルノ貨幣上ノ組織ノ重要性ヲ強調スベキコトヲ示唆ス我等ハ又政府ヲシテ中央銀行ノ職能遂行上ノ困難ヲ增大セシムル如キ一切ノ經濟及財政政策ヲ採ラザル様戒心セシムルコトノ重要ナルヲ信ズ

(ロ) 通貨準備

現下ノ傾向ハ金ヲ中央銀行ニ集中セントスルニ在リ戰前ニ於テハ流通セル又ハ私銀行ノ所有セル金ハ貨幣用金「ストック」ノ總額ノ四十「パーセント」以上ナリシニ今日ニ於テハ中央銀行ノ保有ニ屬セザル金ハ九「パーセント」ヲ超エズ此ノ新事態ハ我等ノ見ル所ヲ以テスレバ慶賀すべきモノナリ蓋シソハ中央銀行ノ能力及活動ノ自由ヲ増大セントスルモノナルヲ以テナリ今

日ニ於テハ金準備ハ第一ニ外國ニ對スル借方勘定殘高ノ結果タル對外支拂ノ要求ニ應ズルノ用ヲ爲スモノナリ他方多數ノ國ノ現在ノ法制ハ巨額ノ金ヲ國際的使用ノ爲ニ利用シ得ザルモノタラシムルノ結果ヲ來スモノナルコトヲ認メザル可ラズ我等ハ左ニ掲グル措置ハ公衆ノ信賴ヲ些モ減ズルコトナクシテ中央銀行ノ準備ノヨリ效果的ナル使用ヲ可能ナラシムベキモノナリト信ズ

(1) 準備率ノ低下 過去數年ノ經驗ニ徴スルニ多數ノ中央銀行規程中ノ準備ニ關スル規定ハ恐慌ノ際正當ト認メラルベキ程度ノ對外支拂ニ應ズル爲準備ノ利用ヲ可能ナラシムニ足ル彈性ヲ有セザリシコト明白ナリ

急激ニ一國ヨリ他國ヘ移動シ得ル短期資金ノ金額ノ增加ハ支拂差額ノ上ニ不時ノ過重ナル負擔ヲ課スコトアリ

加フルニ何等カノ理由ニヨリ國民經濟ガ其ノ彈力性ヲ減ジタル時ニ於テハ屢々失ハレタル均衡ヲ恢復スル爲ニ然ラザル場合ニ比シ一層長キ期間ヲ要スルコトアリ而シテ右適應期間ノ繼續スル限リヨリ巨額ノ金ヲ輸出スルコトヲ余儀ナクセラルコトアリ

會議ハ特ニ中央銀行ヲシテ支拂差額ノ變化ニ應ズル能力ヲヨリ大ナラシムル様中央銀行ノ準

備ニ關スル規則ノ彈力性ヲ增大スルノ必要アルコトヲ強調スベキモノト思惟ス

準備トシテ保有セラルベキ金（又ハ金及外國爲替）ノ法定最低額ヲ慣行的ノ率タル三十三乃至四十「バーセント」以下ニ著シク低下セバ其ノ利益大ナルベシ即チ斯シテ對外支拂ノ爲ニ利用シ得ベキ「マーデン」（實際保有額ト法定最低額トノ間ノ差額）ハ遙カニ大トナルベシ然レ共我等ノ見ル所ヲ以テスレバ會議ハ資力ノ制限セラレタル國ガ銀行券及信用ノ增發ヲ正當ナラシムル理由トシテ最低準備要求ノ變更ヲ利用ス可ラザルコトヲ力説セザル可ラズ蓋シ斯ル場合ニ於テハ自由ニ處分シ得ベキ「マーデン」ハ消滅シ改革ノ目的即チ當該中央銀行ノ地位ノ強力化ハ達成セラレザルベキヲ以テナリ

(2) 金爲替本位 法定義務準備中ニ外國爲替ヲ加フルコトヲ許サレタル國以外ニテモ殆ド總テノ國ニ於テ中央銀行ハ金ノ輸出ニ依リテハ企テ及バザル程直接且迅速ニ爲替ニ作用シ得ンガ爲ニ其ノ金準備ヲ在外短期資金ヲ以テ補充シ居レリ或ル場合ニ於テハ中央銀行ハ此等在外資金ヲ國內貨幣市場ニ作用スルニ利用シ居レリ

近年實行セラレ居タル右制度ハ殊ニ巨額ノ外國爲替ノ保有ヲ包含セル場合ニ於テハ其ノ運用ハ若干ノ重大ナル缺點ヲ有スルコトヲ示セリ最近數年間ノ異常ナル狀態ハ恐ラク若干ノ市場

ニ於ケル外國資金ノ過度ノ蓄積ヲ惹起スルニ與リテ力アリシモノナルヘシ我等ハ右ノ諸缺點ハ一部分ハ金本位其ノモノノ一層妥當ナル運用ニ依リ又一部分ハ一層集中化サレ且效果的ナル統制ノ一制度ヲ樹立スベキ特別ノ改善策ニ依リ避ケ得ラルモノナリト信ズ我等ハ外國爲替資金ノ保有ニ存スル右ノ制度ハ若シ適當ニ統制セラルニ於テハ多數ノ國ニ於テ國際的本位復歸ヲ促進シ得ベク又高度ニ發達セル資本市場ヲ有セザル諸國ニトリ永續的ナル金融制度ノ爲缺クベカラザル一要素ヲ構成スルモノナリト思惟ス中央銀行ノ外國爲替資金ハ之ヲ當該通貨ヲ發行スル中央銀行ニ置クカ又ハ該中央銀行ノ仲介ニ依リ他ノ所ニ置クカ或ハ又國際決済銀行ニ置クコト極メテ望マシ右ハ我等ノ見ル所ヲ以テスレバ中央銀行ガ其ノ市場ニ於テ他ノ中央銀行ニ依リ爲サルル一切ノ取引ニ付全幅ノ智識ヲ有スベキコト極メテ重要ナルヲ以テ一層然リ尙外國爲替資金ヲ利用スル總テノ中央銀行ガ對外投資ノ危險ニ對シ自己ヲ保障スルニ必要ナル一切ノ措置ヲ執ランコトモ亦重要ナリ

(3) 金節約ノ他ノ方策 小額紙幣ノ流通スル國ニ於テハ右紙幣ヲ流通ヨリ引上げ或ル限度ニ於テ補助貨ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得ベク右措置ハ流通銀行券ノ減少ニ依リ或ル程度迄金準備ノ上ニ及ボサルル緊張ヲ緩和スベシ

更ニ又各國ニ於テ「清算」ノ機構ヲ改善スルコト可能ナラザル可ラズ租稅及俸給ノ支拂、大ナル小賣取引、一ノ場所ヨリ他ノ場所ヘノ資金ノ移轉等ハ小切手、郵便振替及其ノ他ノ振替ニ依リ爲サルルコト益々大トナシ得ベシ右ニ關シテハ政府及地方當局ハ立法的措置ニ訴フルコト無クモ率先シテ租稅、公企業ニ支拂ハルベキ金額等ノ支拂ニ小切手ヲ受入レ以テ範ヲ垂ルルコトニヨリ大ニ寄與シ得ベシ

(4) 通貨準備ノ分配 世界貨幣用金總額ノ約八十「バーセント」ガ五ヶ國ニ集中セラレタルノ事實ヲ以テ特徵トスル現下ノ異常ナル狀態ハ特別ノ一要因ヲ以テ説明シ得ルモノニ非ズシテ支拂差額決定ノ多數ノ因子ノ上ニ作用シタル若干ノ深刻ナル不均衡ノ徵候ト看做サルベキモノナリ事態改善ノ爲ニ探ラルベキ對策ヲ考究スルニ際シテハ原因ノ複雜多岐ナルコトヲ考慮セザル可ラズ現下ノ異常狀態ノ永續的改善ヲ達成センガ爲ニハ商品交易ノ自由ヲ增大スルヲ要スベク對外債務ノ決済ノ爲金ノ輸送ニ依存スルノ程度ヲ減ズルコト必要ナルベシ

本書ノ前記諸節ニ於テ我等ハ中央銀行ノ最低準備率低下ヲ提議シ又ハ或ル國ハ其ノ法定準備中ニ外國爲替資金ヲ包含スルコトヲ許サレザル可ラズトノ意見ヲ表明シタリ此等ノ措置ハ世界ニ於ケル金ノ不平等ナル分配ニ依リ惹起セラレタル困難ヲ或ル程度迄緩和スルコトヲ可

能ナラシムベシ然レ共右措置モ又其レ自身ノミヲ以テハ充分ナルモノニ非ザルハ言ヲ俟タズ

準備ノ充分ナラザル國家ガ金本位ニ復歸スルコトトナル場合ニ於テハ新平價ハ支拂差額ガ順トナルヲ害セザルガ如キモノタルベクスシテ過大ノ努力無クシテ充分ノ準備ヲ國內ニ吸引スル如キモノタラザル可ラズ

或ル場合ニ於テハ曩ニ大ナル通貨準備ヲ擁スル國ニ逃避シ居タル資本ノ國內復歸ナル形ニ於テ事態ノ自動的調整ガ行ハルベシ此等大ナル通貨準備ヲ擁スル國ノ輿論ヲシテ斯ル場合ノ金流出ガ其レ自身ニ於テ何等支拂差額ノ不均衡ヲ表ハスモノニ非ズシテ寧ロ一般的信賴恢復ノ徵候ナルコトヲ理解セシムルコト重要ナリ斯ノ如キ流出ニ對シ信用制限ヲ以テ對抗スルハ啻ニ金ノ新分配ヲ遲延セシムルノ危険アルノミナラズ「デフレーション」ノ傾向ヲ誘發スルモノナルベシ

豫メ國際的信用取引ニ依リテ今日準備ノ充分ナラザル國ニ充分ナル準備ヲ獲得セシムルコト可能ナリヤ否ヤノ問題生ズスル信用取引ハ自己ノ準備ヲ强大ナラシメント欲スル中央銀行側ヨリノ絶エザル金需要ノ爲ニ生ズベキ外國爲替市場ノ繼續的緊張ヲ緩和スルコトヲ得ベシ

(後記第三ノ三参照)

(ハ) 信用政策ニ於ケル中央銀行ノ協力

會議ハ勿論中央銀行ガ其ノ政策ノ考究ニ當リ國家的考慮及國際的考慮ノ兩者ヲ取上グルコトヲ得ンガ爲諸中央銀行間ニ密接ノ關係ヲ維持スルコト極メテ重要ナルコトヲ力説スルナルベシ各自己ノ市場ニ於テ執ラルル政策ニ對スル全責任ハ之ヲ各中央銀行ニ歸スベキモノナリト雖モ中央銀行間ノ連續的ノ協議ハ諸中心地ニ於テ實行セラルル政策ノ連絡ヲ助クベク一中央銀行ノ統制作用ヲシテ外國ノ支持ヲ得ルニ於テハ實ニ其ノ效果ヲ一層大ナラシムルコトヲ得ベシ

國際決済銀行ハ諸中央銀行ノ利用シ得ル新ナル仲介者タルモノニシテ同銀行ハ啻ニ接觸ヲ增加スルコトニ依リテノミナラズ又本書中ニ屢次示シタル如ク協調的活動ノ機關トシテモ益々大ナル役割ヲ演ジ得ザル可カラズ

右ニ關シ我等ハ國際決済銀行理事會ガ一九三二年七月十一日ノ會議ニ於テ全會一致ヲ以テ採擇シタル決議ノ第五點ニ對シ注意ヲ喚起スル者ナリ該理事會ハ一九三二年六月國際聯盟金委員會ニ依リ提出セラレタル最終報告書ノ結論ヲ原則トシテ採テ以テ自己ノ結論トナス旨宣言シタリ右結論ハ右理事會ニ依リ將來實際的適用ヲ受クベキ通貨原理ノ樹立ノ爲出發點ヲ爲スモノト認

我等ハ特ニ金委員會報告書ノ中ニ指示セラレタル目的即チ金ノ購買力ノ異常ナル變動ヲ防止スルノ目的ヲ達成センガ爲右ノ宣言並ニ諸中央銀行間ノ相互的協議ニ大ナル重要性ヲ賦與スル者ナリ我等ハ金委員會ト同ジク一切ノ行動ハ國際的諒解及協力ヲ基礎トセザル可ラズト確信ス一般的金本位復歸及將來ニ於ケル其ノ良好ナル運行ノ前途ハ大半懸ツテ此ノ分野ニ於テ實現セラルベキ進歩ニ在リト認メラル

(四) 銀

金貨ニテ表示セラレタル銀ノ價格ハ一九二一年ヨリ一九二九年ニ至ル間比較的安定シ居タルガ爾後三年ナラズシテ半ハ以上ヲ激落セリ此ノ急激ナル下落ガ主トシテ一般物價水準ニ作用ヲ及ボシタルト同一ノ原因ニ歸セラルベキモノナルコト從テ此ノ下落ハ世界經濟恐慌ノ反映ノ一例ト見做サレ得ルモノナルコトハ疑ナシ然リト雖モ此ノ下落ヲ加重シタル特殊要因（右ハ既ニ恐慌勃發前ヨリ或程度ニ作用シ居タリ）ヲ見出スコトハ可能ナリ即チ銀ノ貨幣使用廢止、補助貨ノ銀分低下及餘剩「ストック」ノ處分之ナリ

我等ハ銀價格引上ノ爲ニ近年論議セラレタル諸提案ヲ順次検討シタルガ右ニ關シ左ノ如キ意見ヲ

提出セント欲ス

(1) 何等カノ形態ノ金銀複本位制ヲ採用スベシトノ提議アリキ

我等ハ抑々金ノ價值ト銀ノ價置トノ間ノ固定的比率ヲ前提トスル金銀複本位制ナルモノハ世界ノ主要國ガ一致シテ此ノ制度ヲ採用スルニ非ザレバ其ノ採用ハ危險ヲ免レ得ザルモノナルコトヲ指摘セント欲ス現在世界的ニ受諾シ得ト認メラル本位制ハ金本位アルノミナルヲ以テ金銀複本位制ノ採用ノ考案ハ實行不可能ナルモノト認メザル可ラズ

(2) 發券銀行ニ對シ法定準備ノ中ニ一層多量ノ銀ヲ包含スルコトヲ許スベシトノ提議アリキ

假ニ如何ナル形態ノ金銀複本位制モ受諾シ得ザルモノト認メラルルトセバ銀ハ中央銀行ノ金屬準備中ニ多量ニ存在スル爲ノ必要條件ヲ具備セズ蓋シ右銀ガ國際收支差額ノ決済ノ爲ニ他ノ中央銀行ニ受入レラルベキ固定的價格ハ存在セザレバナリ

(3) 又銀價格引上ノ爲政府ガ干渉スベシトノ提議モアリタリ

此ノ點ニ關シ我等ハ本書ノ前節ニ述べタル示唆即チ小額紙幣ノ流通セル國ニ在リテハ右小額紙幣ハ之ヲ引上げテ或ル程度迄補助貨ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得ベシトノ示唆ヲ指示セント欲ス我等ハ會議ハ此ノ點ニ關シ如何ナル程度迄補助貨トシテ銀ノ使用ヲ増シ得ベキヤラ考究スベキ

モノト思考ス政府保有ノ銀「ストック」ノ賣出ガ如何ニ望マシキモノト認メラルム市場ヲ不必要ニ攪亂スルコトナキ様右賣出ヲ爲スコト重要ナリ

會議ハ又生産者及通貨當局ニ依ル銀ノ販賣ヲ改善スルコトノ可能ナルヤ否ヤ又可能ナリトスレバ如何ナル方法ニ依リ然ルヤノ問題ヲモ考究スルヲ要スベシ我等ハ又銀ノ工業的使用ノ増加若ハ新ナル工業的用途ヘノ使用ノ問題ハ詳細研究スルノ價值アルモノト信ズ

銀使用國殊ニ支那トノ通商關係ニ關シテハ貿易ヲ振興スル最善ノ手段ハ銀其ノモノノ價格ノ引上ニ非ズシテ一般商品價格水準ノ引上ニ在ルベシ右一般物價水準ヲ引上げ且適當ナル時期ニ之ヲ安定セシメントスル一切ノ行動ハ銀價ノ上ニ好影響ヲ及ボスベキモノタルベク且一般ニ歡迎セラルベシ

第二、物 價

(一) 物價ト生產費トノ間ノ不均衡

近年生ジタル物價ノ下落ハ幾多ノ困難ヲ生ゼシメタリ而シテ通貨反經濟ノ分野ニ於テ進歩ヲ實現シ得ンガ爲ニハ右困難ハ如何様ニカシテ之ヲ打開セザル可カラズ

第一ニ現實的價値ヲ以テスル債務ノ負擔ハ著シク增加シ債務者ニトリテハ義務ノ履行及契約破棄

ノ迴避ハ益々困難トナルニ至レリ國際的債務ノ分野ニ於テハ資金移譲(「トランسفアーノ」)ノ問題ハ世界貨幣制度全體ノ上ニ危險ナル影響ヲ及ボシ得ベキ一ノ特殊ナル問題ヲ發生セシメタリ
第二ニ一般ニ生産費ノ低下ハ販賣價格ノ下落ヨリ緩慢ニシテ之ガ爲ニ企業ハ収益不能トナリ其ノ結果生産ハ其ノ組織ヲ亂サレ且減退セントスルコトハ益々增加スル失業ノ之ヲ示スガ如シ失業手當ノ與ヘラルル場合ト雖モ賃銀收入ノ減少ハ又公衆ノ購買力減退ヲ生ゼシムベシ加フルニ販賣ノ減少ハ工業設備ノ正當ナル發展若ハ單ニ其ノ維持ノミヲモ一切無益ナリトノ考ヲ起サシメ其ノ結果新投資活動ノ停止ヲ生ゼシメ啻ニ「資本財」生産ニ從事スル勞働者ノ間ニ重大ナル失業ヲ發生セシムルノミナラス貯蓄死藏ノ傾向ヲ生ゼシム

第三ニ物價下落ハ一切ノ種類ノ商品ニ付テ同一步調ヲ以テ進行セザリキ製造品ノ價格ハ多クノ理由ニ依リ天產物ノ價格ニ比シ下落緩慢ナル傾向アリ又小賣物價ハ卸賣物價ニ比シ抵抗力大ナルコトハ一般ニ知ラレタル所ナリ現下ノ恐慌ノ特徵中特ニ舉グヘキハ多數國ニ於テ資本設備ノ爲ニ必要ナル或ル種商品ノ價格ニ付テ生ジタル一傾向即チ再調整ヲ助長スベカリシ下落ニ拮抗セントスルノ傾向之ナリ右傾向ハ事業界ノ恢復ヲ遲延セシメ長期及短期ノ金利ノ如何ニ低キカヲ問ハズ新資本計劃ヲ沮喪セシメタリ或ル場合ニ於テハ斯ノ如ク「生産財」ノ價格ガ下落ニ對シテ比較的抵

抗力大ナリシハ該價格ガ大體ニ於テ他ノ商品價格ヨリ以上ニ「カルテル」及其ノ他獨占的性質ヲ有スル協定ニ依リ統制セラレ居タル事情ニ因ルモノノ如シ

物價下落ニ加ヘテ生産減少ノアリタルコトハ世界ノ主要國ノ或モノニ於テ國內通貨ニテ表現セラレタル國民所得ヲ三年前ニ比シテ六十「パーント」以下ニ減ゼシメタリ原料品ノ輸出ヲ主トスル國ニ於テハ右原料品ノ金價格ハ多クノ場合以前ノ價格ノ三分ノ一、四分ノ一乃至ハ更ニ低キ割合ニ下落セリ通貨ノ下落ハ或ル程度迄國內的困難ヲ輕減シタルガ如シト雖モ世界價格ノ崩落ハ特ニ此等ノ國ノ對外債務ノ負擔ヲ著シク増加シ以テ其ノ對外地位ニ破滅的影響ヲ及ボシタリ

更ニ又殊ニ失業手當及其ノ他ノ社會的目的ノ交付金ガ歲出ニ加ハル爲諸國政府ハ重大且困難ナル豫算問題ニ當面セリ國家及地方當局ノ收入ハ遞減スル國民所得中ヨリ取立ツルノ外ナキ處租稅ノ率ハ或ル程度ニ達スレバ甚ダ高率ナルガ爲商工業ニ對シテ重大ナル壓迫ヲ加フルヲ免ガレザルベシ

(二) 均衡ヲ恢復スヘキ方策

(イ) 販賣價格ト生産費トノ間ノ破壞セラレタル均衡ヲ恢復スベキ手段ノ一ハ生産費ノ低下ニ在ルコトハ明白ナリ一般的ニハ右ハ通貨ニ依リ表現セラレタル賃銀ノ割合ヲ低下スルニ非ザレバ達

成シ得ラレザルベシ此種ノ著シキ低下ハ最近ニ至リ實行セラレ或ル國ニ於テハ約二十乃至二十五「パーント」ニ達シタリ此等ノ低下ヲ實行スルノ可能性ハ國ニ依リ異ナリ且新ナル著シキ低下毎ニ必ズ益々增大スル抵抗ニ遭遇スベキコトハ之ヲ斷定スルニ難カラズ如何ナル程度迄右ノ低下ガ諸種ノ賃銀及價格（殊ニ異レル生産段階ニ於ケル賃銀及價格）ノ間ノ從來ノ適應缺除ヲ是正シ以テ其ノ相對的地位ノ改善ヲ可能ナラシムルヤハ俄ニ豫断シ難キ問題ナリ然レ共右問題ハ如何様ニモアレ債務ノ負擔ハ若シ輕減セラレザルニ於テハ多數ノ難問題ヲ發生セシムベシ

(ロ) 均衡ハ又物價騰貴ニ依リテモ恢復スルコトヲ得

(1) 物價ヲ騰貴セシムヘキ手段ノ一ハ生産ヲ制限スルニアリ本問題ハ本註釋第六ニ於テ之ヲ論ジタリ

(2) 自由ナル金本位ヲ維持シ且大ナル通貨準備ヲ擁スル國ニ於テハ（第一ノ(二)ノイニ示シタル如ク）低キ短期金利ヲ及又或場合ニ於テハ公開市場取引ヲ含ム自由主義ノ信用政策ヲ遂行スルコト可能ナルガ如シ更ニ長期金利モ亦借替及其ノ他ノ操作ニ依リ能フ限り之ヲ低下スルヲ要スベシ「金融復興會社」ノ仲介ニ依リテ執ラレタル措置ニ加ヘテ一九三二年春亞米利加合衆國「聯邦準備銀行」ニ依リテ行ハレタル公開市場取引ハ信用逼塞及通貨退藏ヲ停止セ

シメタルコトハ注意スルコトヲ要ス右取引ハ又私銀行ノ爲ニ五億弗ヲ超ユル餘剩準備ヲ生ゼシメタルガ同準備ハ銀行經濟界ニ於ケル信賴ノ恢復ヲ助ケタリ

若干ノ中央銀行ハ其ノ自己ノ市場ニ及ボス指導ニ依リ貯蓄銀行及他ノ類似ノ機關ヲシテ預金利率ヲ順應セシムルト同時ニ又抵當貸付及其ノ他ノ長期貸付ノ利率ヲ低下セシムルコトヲ促スヲ得タリ

(3) 自由主義ノ信用政策ガ物價ニ對シ豫期ノ影響ヲ及ボシ得ンガ爲ニハ信用ニ對スル需要ノ生ズルコトヲ要ス

第一ニ商品ニ對スル自然的需要ノ發生ヲ期待シ得ル若干ノ理由アリ例ヘバ恐慌中ハ多數ノ產業的企業ハ其ノ設備増大ヲ斷念シタルノミナラス修復ヲモ延期セリ斯ル事態ハ無限ニ繼續シ得ベキモノニ非ズ恐ラクハ此ノ方面ニ著シキ可能的需要ガ蓄積セラレ在ルベシ多クノ企業ハ近年其ノ償却勘定ニ於テ之ガ爲財政的準備ヲ進メ居タリ消費者ト雖モ亦衣服、家具、自動車等ノ如キ耐久的使用品ニ關シテハ右ト可ナリ類似ノ地位ニ在ルベシ

政府及其ノ他ノ官憲ハ市場ニ於ケル起債ニ依リ金融セラルベキ廣汎ナル公共事業計劃ニ依リ能動的ニ公衆ノ購買力増加ニ努ムベキモノナリトノ意見屢々表明セラレ居レリ若シ此ノ種政

策ニシテ合理的の限度内ニ止メラルルコトナク國家ノ信用ヲ薄弱ナラシムルノ結果ヲ致スニ於テハ公債借換ハ阻止セラレ長期金利ノ低下ハ遲延セシメラルベシ

我等ノ期待スル如キ實質的需要ノ增大ハ一般財政及經濟機構ニ於ケル信賴ノ増大ノ結果タラザル可ラス若シ公衆ニシテ政治及通貨當局カ究局ニ於テ改善ヲ期待セシムルニ足ル政策ノ遂行ニ努力シツツアルコトヲ知ラバ恐ラク公衆ハ正常的經濟生活ヘノ復歸ニ依リテ直チニ之ニ應ズルナラン我等ハ本報告書中ニ示サレタル政策（該政策ハ健全ナル基礎ノ上ニ於ケル通貨ノ恢復、財政的復興、貨物移動ニ於ケル自由ノ増大及右政策ノ實際的採用ヲ立證スル若干ノ迅速ナル措置ノ採用ヲ目標トルモノナリ）ノ一般的採用ハ信賴ヘノ復歸ニ向フ決定的一步タルコトヲ敢テ示唆セントスルモノナリ

(4) 制限セラレタル國民的資本ヲ有スル國ニ購買力ヲ賦與スベキ健全ナル國際取引ノ再開ハ物價ニ對シテ有益ナル影響ヲ及ボスベキコトハ多言ヲ要セズシテ明カナルベシ

第三、資本移動ノ再開

正常的狀態ヘノ復歸ハ他ノ手段ト共ニ資本ノ國際的移動ノ再開ニ懸ルコト大ナルベシ信賴恢復ト共ニ資本ガ自由ニ移動シ得ル様現在右再開ヲ妨げ居ル障碍ヲ除去スルコト重要ナリ前述シタル爲

替不安定以外ニ資本ノ移動ヲ妨グ居ル主タル障碍ノ或モノハ外國爲替ニ關スル制限及或ル場合ニ於テハ現在ノ債務ノ重荷ナリ

(一) 外國爲替ニ關スル制限ノ撤廢

外國信用ニ依リテ均衡ノ恢復シ得ザルニ至レル場合多數國ハ物價下落及外國貿易ノ激減ノ爲ニ惡化シタル不利ナル收支差額ノ結果其ノ通貨ノ安定ヲ拠棄スルカ又ハ外貨ノ輸入ヲ人爲的ニ均衡セシムル目的ヲ以テ爲替管理ヲ樹立スルカノ二途ノ一ヲ選ブノ餘儀ナキニ至レリ右兩制度ヲ並行シテ採用シタル國スラアリキ曩ニ無制限ノ「インフレーション」ノ破滅的結果ニ苦シミタル國ノ大多數ハ爲替管理ヲ是トシテ其ノ通貨ノ名目的平價ヲ維持セリ右管理ハ此等諸國ヲシテ多少ノ成功ヲ以テ國民的資本ノ輸出及外國信用ノ引上ヲ防止若ハ制限スルコトヲ得セシメタリ然共此等ノ國ガ右ノ成果ヲ得タルハ一二一切ノ新投資ニ對シ門扉ヲ閉スコトニ依リタルモノナリキ更ニ又必要ト認メラレザル輸入ニ對スル外貨支拂ノ拒絶ニ依リ支拂差額ヲ改善センガ爲ニ爲替管理ニ訴ヘラレタルコト屢々アリキ然レ共斯ル制限ハ究局スル所豫期ノ如キ貿易「バランス」ノ改善ヲ齋ナザリキ蓋シ各國ヨリノ輸出ハ外國ニ於テ類似ノ通貨制限若ハ自衛策トシテ取急ギ設ケラレタル行政的障壁ニ逢着シタルヲ以テナリ

斯ノ如ク外國爲替ニ關スル制限及屢々其ノ結果取極メラレタル相殺協定ハ資本流通ニトリ蹠ユ可ラザル障碍ヲ爲シ國際貿易沈滯ノ主要原因ノ一タリ正常狀態ヘノ復歸ハ此等制限ノ消滅ヲ前提トス而シテ之ガ消滅ハ各關係國ニ於ケル收支差額ノ均衡ノ永久的恢復ノ如何ニ懸ル

收支差額ノ均衡恢復ヲ確保シ而シテ或ル發券銀行ノ金屬準備ノ強大化ニ依リ右恢復ニ永久的性質ヲ賦與センガ爲ニハ上述ノ諸種ノ措置ヲ執ルコト絕對ニ必要ナリ此等措置ヲ執ル爲ニハ凡ユル場合ニ必ズシモ諸國政府ノ會合ヲ待ツノ必要ナキコトヲ力説スルハ恐らく有益ナルベシ寧ロ各國ニ於テ正常狀態ヘノ復歸ヲ確保スル爲遲滯ナク努力ノ爲サルルコト重要ナリ

(二) 現存債務

穀上ノ一切ノ措置ノ執ラレタル後ニ於テモ短期預金ノ大量的引上ノ脅威又ハ長期債務ノ元利拂ノ結果タル重キ負擔ノ爲支拂差額ノ均衡ガ恢復シ得ラレザルコトアルベシ斯ル場合對外債務ニ關スル協定ガ關係國ノ間ニ締結セラルルノ要アルベシ

茲ニ我等ハ債權國ニ依リ遂行セラルル政策ガ究局ニ於テ債務國ニ對シ其ノ債務ヲ商品及勞務ノ形態ニ依リ支拂フコトヲ可能ナラシムベキコト極メテ重要ナルコトヲ力説スベキモノト信ズ

我等ハ又正常狀態ヘノ復歸ハ信賴ノ恢復ヲ伴フベク而シテ此ノ點ニ關シテハ契約ノ遵守ガ第一ニ

必要ナルコトヲ敢テ注意セントスルモノナリ債權國及債務國兩者ノ利益ノ爲關係國ノ間ニ債務ノ現實事態ヘノ調整ヲ行ヒ得ルハ唯豫見セラレザリシ事情ノ爲ニ契約ヲ完全ニ履行スルコトノ不可能トナリタル場合ニ限ルナリ

(1) 短期債務

据置協定、爲替管理及資金移讓「モラトリウム」ノ手段ニ依ル諸國ノ短期債務ノ現在ノ規定ハ其ノ性質上一時的性質ヲ有スルニ過ギズ此ノ種措置ハ若シ長期間ニ亘リ實行セラルルニ於テハ恐慌ヲ長引カシメ且現實ノ事態ガ白日ノ下ニ顯ハルル瞬間ヲ遲延セシムルコトニ依リ恐慌ノ強度ヲ増大セントスル傾アリ故ニ良否何レノ債務者ヲモ平等ノ地歩ニ置キ以テ良キ債務者ノ信用ヲ破壊セントスル傾アル現在ノ制度ハ能フ限り速カニ之ヲ拠棄シ各個ノ場合ニ付其ノ事情ヲ考慮シタル決定的解決ヲ以テ之ニ代フルコト必要ナリ右調整ガ通商上ノ引受ヲ遲滯無ク一切ノ形式ノ取締ヨリ解放スルノ結果ヲ致スコト緊要ナリ斯クシテ通商ハ其ノ正常的經路ヲ利用スルコトニ依リ再生スルコトヲ得ベシ各國ノ發券銀行ハ其ノ爲シ得ル一切ノ手段ヲ盡シテ斯ル恢復策ヲ支持スルノ要アルベシ

本問題ノ解決ハ何ヨリモ先づ債權者及債務者自身ノ利害ニ關ス然レ共同時ニ又一國ノ通貨政策及

通商政策ニ影響スルコト争フノ餘地ナキ本問題ニ付解決ノ講ゼラルルコトハ政府ニトリテモ重要ナリ爲替ニ關スル制限ノ撤廢ハ通貨ニ對シ資金移讓ノ問題ガ提起スル危險ガ除去セラレ信賴ノ恢復スルニ非ザレバ其ノ目的ヲ達スルコト能ハザルベシ

(2) 長期債務

現在ノ物價水準ノ爲支拂差額ノ均衡ノ不可能トナレル迄ニ其ノ負擔ヲ加重セラレタル長期債務ノ場合ニ付テハ債務者ト債券所持者トノ間ニ協定ノ締結セラルルコトヲ要スベシ然レ共若シ支拂差額ノ均衡ノ確保及正常狀態ノ恢復ヲ希望スルニ於テハ本問題ニ付テモ短期債務ノ場合ト等シク満足ナル解決ノ見出ナルベキコト絶對ニ必要ナリ右解決ハ其ノ目的ノ爲ニ協力スル關係者ノ間ニ於テ探究セラルルコトヲ要ス

或ル場合ニ於テハ債券所持者ハ既ニ組合ヲ結成シタルガ又他ノ場合ニ於テモ此ノ種組合ヲ結成スルハ有益ナルベシ更ニ諸國ノ組合ハ相互ニ接觸ヲ保ツノ要アルベシ發行商社ハ債券所持者ノ爲右ニ關シ周旋ヲ爲シ得ル地位ニ在ルヲ要ス

必要ナルベキ場合ニ債務者間ノ直接協定ヲ容易ナラシムル爲關係者ヨリ要請セラルベキ調停者トシテ行動スベキ權威アリ且有能ナル人ノ名簿ヲ作成スルコトヲ得ベシ

然レ共此ノ分野ニ於テモ亦一切ノ場合ニ對スル齊一ナル解決ハ存在セザルコトヲ附言スルノ要アリ

(三) 資本移動

世界全體ニ於ケル資本移動ノ再開（即チ換言スレバ國際投資ノ再開）ハ正常ノ信用経路ヲ通ジテ行ハレザル可ラズ特別ナル信用機關ノ創設ハ右再開ヲ助長スベキコトアルベシ世界ガ正常狀態ニ復スルヤ信用制度モ舊通りニ機能シ始ムベキコトハ疑無シ信用ハ普通ノ方法ニ依リ要求セラレ許與セラレ又ハ拒絕セラルニ至ラン利用シ得ル信用ガ消滅シタルニ非ザルコトハ之ヲ記載セザルベカラズ否寧ロ信用ハ豊富ナルニモ拘ラズ敍上ノ理由ニ依リ利用セラレザルナリ然レ共過去ノ經驗ニ鑑ミ短期信用ノ量及移動ニ關スル情報ノ交換ヲ助長スルコトハ望マシカルベシ

他方貸付取引ノ再開ハ之ヲ刺戟スル爲ニ何等ノ國際的行動ノ執ラレザル限り緩慢ナルベシ右ニ關シ諸々ノ機會ニ幾多ノ提案論議セラレタリ

委員會ノ注意ヲ喚起セラレタル諸種ノ示唆ノ中ニハ「ストレザ」會議ニ於テ問題トセラレタル貨幣平準基金ノ創設アリ

實ニ上ニ掲ゲラレタル一切ノ勸告ガ採用セラレタル後ニ於テモ責任アル當局ガ爲替取引ノ自由ヲ

恢復スルニ尙遠巡スルコトアルベク此ノ場合ニ於テ假令輕微ナリトモ外部ヨリノ援助ガ彼等ノ信賴竝ニ公衆ノ信賴ヲ確保スルニ效果アルコトアリ得ベシ

前記ノ如キ基金創設ノ目的ハ通貨平準化ヲ助長スルニ在ルヲ以テ國際決済銀行ガ右基金ノ管理ヲ負擔スル機關タルベキコト自然ナルガ如シ蓋シ右基金管理ニ當リテハ一切ノ政治的影響ヲ避クルコト望マシキヲ以テナリ

既ニ久シク停止セル金融機構ノ運行ヲ再開スル爲ニハ特別ノ援助ヲ必要トスベシトノ思想ハ我等ノ討議ニ際シテモ開陳セラレタリ此ノ目的ノ爲ニ發券銀行若ハ民間ヨリ必要ナル資金ノ供給ヲ受クベキ國際的信用機關ヲ創設スルコト適當ナルベシトノ示唆提出セラレタリ右資金ノ供給ニ付テハ何レノ場合ニ於テモ政府ハ援助ヲ與フベク而シテ右政府ノ援助ハ貨幣平準基金創設ノ爲ニモ亦必要ナルベシ

現在利用セラレザル資本ヲ活動セシムルコトヲ目的トスベキ此ノ種機關ハ健全ナル條件ノ下ニ於テ且一切ノ「インフレーション」ヲ防止スベキ嚴重ナル統制ノ條件ノ下ニスルニ非ザレバ新タル信用ヲ許與スベキニ非ザルコトハ言ヲ俟タズ該機關ハ敍上ノ舊信用（「凍結」信用）ヲ償還スルモノナラザルコトヲ要スベシ右機關ガ一切ノ政治的影響ヲ免ルベキコトモ亦言ヲ俟タズ右機關ハ

國際決済銀行ニ結ビ付ケラレ又ハ同銀行ノ管理ヲ受クルモノタルヲ得ベシ若シ同案ニシテ諸政府ノ贊同スル所トナラバ我等ハ本問題ヲ更ニ詳細ニ検討センコトヲ提議ス

資本移動ヲ助長スベキ他ノ一方策即チ國際的公共事業ノ計劃モ亦委員會ニ提議セラレタリ我等ハ近キ將來ニ於テハ真ニ大ナル公共事業計劃ノ實施ノ爲國際的ノ出資ヲ見ルハ可能ナラザルベシト思考ス昨年ハ過度ノ債務負擔及外債元利拂ノ誘發シ得ル爲替困難ノ危險ヲ未會有ノ程度ニ示セリ右考慮ヲ措キテ考フルモ現在諸國政府ハ極メテ多數ノ要求ヲ受ケ爲ニ之ヲ拒絶スルノ餘儀ナキ状態ニ在リ加フルニ極メテ多方面ニ於テ節約ヲ爲スコトヲ餘儀ナクセラレ居ルヲ以テ之ガ爲ニ豫算ニ此種ノ新負擔ヲ加フルニ先チ慎重ナル研究ヲ加ヘザル可ラズ

然レ共若シ一貸付國ノ政府ニ於テ右目的ノ爲一層容易ニ資本ヲ調達シ得ル様何等カノ形式ニ於テ保證ヲ與ヘント欲スルニ於テハ最善ノ計劃スラ其ノ實行ニ必要ナル資金ヲ獲得シ難キ時ニ於テモ提議セラレタル右事業ノ實行ハ之ニ依リ促進セラルベキハ明カナリト認スマラ殊ニ現在ノ狀態ニ在リテハ資本負擔ノ元利拂ニ必要ナルベキ内外通貨ノ金額ヲ收得シ得ルコトノ保證アル生産的ナル公共事業ノ實行ニ對シテノミ資本ヲ供給スベキコトハ健全ナル金融ノ原則ノ要求スル所ナルコト言ヲ俟タズ

第四、國際貿易ノ制限

國際貿易ノ制限ハ禁止、輸入額割當又ハ許可ノ何レノ形式ナルカヲ問ハズ近年非常ニ廣ク行ハレ其ノ數甚ダ多ク今ヤ國際貿易ニ對シ殆ンド諭エ難キ障壁ヲ爲スニ至レリ右制限ハ國際貿易ニ未曾有ノ減少ヲ招來シ全ク之ヲ麻痺セシメントス

其ノ嚴重ニシテ屢次恣意的ナルノ性質、商取引ニ及ス嚴格ナル管制及國際經濟關係ニ及ス不確實及不安定ニ依リ此等制限手段ハ通常國內市場ヲ防衛シ保護セントスル方法ナリト主張セラルト雖モ往々ニシテ經濟戰爭ニ於ケル事實上ノ武器タルノ觀ヲ呈ス

右制限ノ擴張ハ制限ノ適用セラルル商品ニ付通商條約ノ規定ヲ無效ナラシメ以テ通商條約ノ利益ヲ虛無ナラシメントスルノ傾向アリ

關稅ノ外ニ執ラレタル右措置ノ撤廢ハ世界經濟ヲ一層正常ナル狀態ニ至ラシメンガ爲又ハ兎モ角モ商業取引ガ事實上關稅ニ依リテノミ左右セラレ居リタル數年前ノ狀態ニ復歸セシメンガ爲最モ緊要ノ問題ナリ

(一) 經濟的原因及影響

右制限手段ノ進展ニ至ラシメタル重大ナル事情ハ之ヲ認メザルカラズ各國及

諸種產品ノ特別事情ノ敍述ハ之ヲ避クルモ（右敍述ハ餘リニ我等ヲ深入セシムベシ）右手段ノ採用ニ至ラシメタル原因ハ左ノ如ク要約シ得ベシ

第一ニ多數國ハ財政上及貨幣上ノ考慮ヨリ之ヲ採用スルニ至レリ此等ノ國ハ右制限ヲ以テ其ノ支拂差額ノ上ニ恐慌ガ及ボシタル影響ニ基ク通貨下落ヲ防止スル爲直ニ採用シ得ル手段ナリト思考シタリ右ハ特ニ債務ノ大ナル國ニ於テ然リ資本ノ國際的移動ノ事實上ノ停止及貿易外受取勘定ノ著シキ減少ハ此等諸國ヲシテ其ノ經濟活動ヲ著シク澁滯セシムルノ犠牲ヲ拂フモ尙其ノ貿易收支勘定ヲ改善スルノ人爲的方法トシテ其ノ輸入ヲ制限スルノ已ムナキニ至ラシメタリ

尙或ル重要農產物（穀物、家畜等）ノ物價下落ハ右產物ノ輸出ヲ以テ其ノ輸入ニ對スル支拂及對外財政義務ノ履行ノ唯一ノ手段トスル國々ニ最モ大ナル困苦ヲ興ヘタリ而シテ右ハ右商品ノ輸出國ニ非ザルモ之ヲ生產スル國ノ政策ニモ影響ヲ及ボセリ

農產物輸出國ハ其ノ對外收支勘定ガ急速ニ不良ヲ加ヘツツアルヲ見テ其ノ支拂差額ヲ改善スル爲制限特ニ製造品ノ輸入ニ影響スル制限ヲ課セリ農產物ヲ輸出セザルモ之ヲ生產スル國ニ於テハ國內物價ガ世界物價ノ下落ニ卷キ込マルコトヲ防止スル爲農產物ノ輸入ヲ禁止シ又ハ之ニ割當額ヲ定ムル制限手段ニ訴フルニ至レリ

或ル制限ハ特ニ原料品ニ關シ或ハ生産者間ノ協定ナキ爲或ハ右協定締結ヲ促進スル爲或ハ右協定ノ運用ヲ可能ナラシムル爲加ヘラレタリ

同様ノ制限ハ製造品ニモ加ヘラレタリ然レ共最モ主要ナル原因ハ外國市場ガ絶エズ益々制限セラレントスル傾向ニアルコト及比較的高物價ト安定セル貨幣ヲ有セル國ヘ貨幣ノ下落セル國又ハ輸出獎勵手段ヲ採用セル國ニ於テ生産セラレタル物品ガ流入スルコト之ナリ諸國ニ於ケル輸入妨害手段ハ其ノ必然ノ結果トシテ物品ヲ其ノ通常ノ市場ヨリ門戸開放ヲ維持シ居ル國ヘ轉向セシメ戸開放國ヘ惡影響ヲ及ボシタリ

或ル國ハ原則トシテ制限政策ニ斷然反対ナルモ其ノ輸出ニ對シ加ヘラレタル措置ニ反対シ自ラ同様ノ手段ヲ採用シテ報復スルノ已ムナキニ至レリ特ニ一旦設定セラレタル禁止制度ガ關稅率低減ノ爲ノ掛引ノ方法トシテ使用セラルルヲ見ル場合ニ於テ然リトス

絞上ノ要約ハ何等制限ヲ辯護セントスルニ非ズシテ貿易ノ重大ナル障礙ヲ除去セントスル最モ有效ナル方法ハ其ノ原因ノ排撃ナルベキヲ以テ其ノ採用ニ至ラシメタル原因ヲ指示スルコト望マシト思考スルニ依ルナリ制限ハ單ニ一時的ノ效果ヲ有シタルニ過ギザルコトヲ指摘セザルベカラズ輸入ノ制限ハ輸出ノ減少（場合ニ依リテハ輸入ヨリモ遙ニ大ナル輸出ノ減少）ヲ招來シタルヲ以

テ後ニ於テハ有害ナル結果ヲ齎シタリスクシテ恐慌ノ影響ヲ減少センガ爲諸國ノ採用セル制限手段ハ却テ事態ヲ一層悪化セシメ現存ノ困難ヲ長引カシムルコトトナレリ物價ノ一層良好ナル均衡ガ制限ノ撤廢ヲ容易ナラシムルコトアルベキハ眞ナルモ之ト同時ニ制限自體ガ物價ノ騰貴ト安定トヲ齎サントスル經濟力ノ效果ヲ著シク減ジ居ルコトヲ認メサル可ラズ

(二) 爲替制限、清算協定等

最近數年間貿易制限ノ制度ト相並ンデ外國爲替管理ノ諸種ノ措置ノ存在ガ事態ヲ悪化セシメタリ

右ハ本質上貨幣及財政ノ範圍内ニ入ルベキモノナリ然レ共右ハ國際支拂ヲ制限シ事實上總テノ場合ニ於テ物品ノ交易ニ對シ最モ重大ナル障害ヲ爲シ居レリ

爲替制限ハ又多數ノ清算協定、相殺協定、實物取引協定等ノ採用ニ至ラシメタリ右協定ノ目的ハ元來制限ノ實施中ニ於テモ貿易ノ繼續ヲ可能ナラシメントスルニアリキ然レ共其ノ後更ニ廣範圍ノ適用アルニ至レリ往々ニシテ右ハ貿易ヲ人爲的ノ徑路ニ轉向セシメ同協定利用國ノ生產品ニ人爲的ノ利益ヲ與ヘ累積セル債務及當座勘定債務ノ履行ニ付キ諸國債權者間ニ差別待遇ヲ爲スガ如キ作用ヲ爲シ居レリ

此等清算及相殺協定ハ之ニ純粹ニ二國間的性質ヲ與ヘントスルノ傾向ニ依リ國際通商及財政關係ニ特ニ惡影響ヲ齎スモノナリ仍テ若シ正常ナル狀態ヲ回復セントセバ速ニ之ヲ廢棄セザルベカラズ

(三) 間接ノ保護手段

敍上ノ國際貿易制限ノ外他ノ事柄ヲ目的トスルモノナルモ輸入ノ妨害ヲ爲スコトアルベキ或種ノ手段アリ輸入品ニ原產地表記ヲ爲スノ義務ニ關スル措置、動植物ノ疾病ニ關スル制限及其ノ他ノ間接的保護手段ノ範圍ニ入ルベキ同種ノ措置ハ時トシテ前記ノ性質ヲ有ス

會議ハ此等ノ諸問題ニ付成ル可ク速ニ衡平ナル解決ヲ得ル様方法ヲ講ゼザルベカスズ

(四) 制限撤廢ノ可能性

國際貿易ハ此等ノ新障碍ガ除去セラレ再ビ自然ノ徑路ニ從ヒ流動シ得ルコトナルニ非ザレバ充分ニ回復スルコトナカルベシ我等ハ制限ノ迅速ニシテ完全ナル撤廢ノ途上ニ横ハル困難ヲ輕視スルモノニ非ズ

我等ハ異レル經濟狀態ノ下ニ於テナリシモ數年前特ニ國際聯盟ノ斡旋ノ下ニ國際條約ヲ以テ輸出入ノ禁止制限ヲ撤廢セントスル企ノアリタルコトヲ知レリ

長キニ亘ル慎重ナル研究ノ後一九二七年十一月八日一條約ノ調印ヲ見タリ同條約ハ一時的例外ヲ許容スルモノ一般的撤廢ヲサ齋シコトヲ目的トセリ然レ共一方ニ於テハ右例外ノ爲他方ニ於テハ或國ノ間ノ關係ガ此等諸國ノ加入ヲ必要トスル特別ノ事情ニ依リ今尙有效ナラズ加之同條約及諸通商條約ニ包含セラルル所謂「カタストロフィー」條項（重大利益保護ニ關スルモノ）ハ屢々如何ナル種類ノ制限ヲモ許容スルモノナルガ如ク解釋セラレタリ仍テ右條項ヲ削除スルコト能ハズトセバ之ヲ明確ニ定義セラレタル嚴重ニ限ラレタル場合ニ局限スルコトヲ要ス

過去ニ於テ遭遇セル困難ヲ回顧スルニ樂觀ヲ許サズ特ニ事態ガ大ニ惡化シ複雜化セル現時ニ於テハ然リ然レ共本問題ニ關シ少許ノ意見ヲ述ブルコトヲ得ベシ
 モノナリ現在制限ハ殆ンド國際貿易ノ全部ニ影響シ今日尙殘存スル減少セル貿易ノ流通ヲ著シク攬亂シツツアリ

(ロ) 第二ニ一九二七年ノ條約ハ制限及禁止ヲ孤立ノ問題トシテ取扱ヒ直接又ハ間接ノ原因ヲ爲ス經濟事情ヲ改善セントスル措置ニ付テハ關與セザリシコトヲ注意セザルベカラズ

他方若シ經濟上ノ並ニ財政上及貨幣上ノ手段（政府間債務及他ノ外債ノ解決、諸國財政狀態ノ改

善、貨幣ノ安定、物價ノ一層良好ナル均衡等ヲ含ム）ヲ含ム組織的行動ヲ執ルコトヲ得ルニ於テハ正常狀態ヘノ復歸及國際貿易制限ノ各種ノ様式ノ消滅ヲ望ミ得ベシ、右行動ハ一切ノ通商制限ノ漸進的除去ノ爲必要ナリト認メラルル場合ニ於テハ輸入割當額ノ増加（交易ノ正常ナル水準ニ近付カシメントスルモノナル限リ單獨行爲ニ依ルトニ國間ノ合意ニ依ルトヲ問ハズ）、關稅ノ調整、生產組織ノ爲ノ協定ノ如キ從來ノ方法ニ依ルコトヲ排斥スルモノニ非ズ

仍テ我等ハ全會一致ヲ以テ國際貿易制限（禁止、輸入額割當、爲替制限等）ノ撤廢ノ爲ノ行動ハ成ル可ク速ニ執ラレ現在ノ經濟的混亂ノ他ノ原因ガ緩和セラレ又ハ除去セラルルニ從ヒ漸次ニ撤廢ヲ廣キニ互リ行フ様之ヲ繼續スルノ必要ナルコトヲ確認セリ

制限ノ撤廢ハ他方其ノ作用トシテ事態ニ甚大ナル影響ヲ及ボシ他ノ困難ノ除去ニ有效ナル援助ヲ與フベシトノ事實ハ之ヲ看過スベカラズ若シ其ノ輸出ヲ増加スルコトヲ得ルニ於テハ多數國ハ外國產品ヲヨリ多ク買ヒ得ルコトトナルベシ一層大ナル市場ノ開放ハ財政上如何ナル手段ヲ必要トルヤノ問題ヲ別トシ債務國ノ嘗メ居ル支拂收支ニ關スル困難ヲ大ニ容易ナラシムベシ

第五、關稅及條約政策

過去ニ於テ多數國ノ採用セル關稅政策ハ近年大ニ惡化スルニ至レリ右傾向ハ世界ノ狀態ヲ混亂セ

シメタル大原因ナリ關稅政策及條約政策ニ關シ輸入制限ニ關スルガ如ク會議ハ現行ノ慣行ヲ改メ一層自由ナル方法ノ採用ヲ確保スルコトヲ要ス

之ガ爲ノ積極的活動ハ大ナル支持ヲ受クルコト確實ナリ農產品タルト製造品タルトヲ問ハズ其ノ產品ノ大部分ヲ世界市場ニ於テ處分スルノ要アル國ハ關稅障壁ノ増大ヲ阻止シ其ノ低下ヲ得ルコトニ付最モ深キ利害ヲ有ス債務國ガ其ノ債務ヲ物品及勞務ノ輸出ニ依リ支拂フコト可能トナリ債權國ガ右方法ニ依リ債務國ノ支拂能力ヲ維持スル様其ノ經濟政策ヲ決定スルニ於テハ世界經濟狀態ノ改善ハ促進セラルベシ債權國ハ其ノ財政政策及通商政策ヲ債務國ノ支拂ヲ可能ナラシムル様調整シタル場合ニ於テノミ其ノ元利ノ受領ヲ期待スルコトヲ得

或ル國ニ於テ現在ノ產業狀態ノ不安、對外支拂ノ困難並ニ現存ノ國內秩序ヲ危カラシムルガ如キ過當輸入ノ虞アルコトヲ理由トシ現在ノ關稅障壁ヲ低下スルコトヲ欲セザルコトアルハ疑ナキ所ナリ關稅率ノ引下ハ勿論順序ヲ迫フテ漸進的ニ之ヲ實行スルコトヲ要シ又能フ限り同時ナルコトヲ要ス何レノ國ト雖モ他ノ國ガ反對ノ政策ヲ採用スルニ於テハ真ニ自由ナル關稅政策ヲ採用シ又ハ維持スルコトヲ得ズ世界ノ繁榮狀態ヲ恢復セントスルニ於テハ一切ノ國ニ依ル貿易ノ現存障壁ノ低下ノ望マシキコト明白ナリ

關稅政策ハ明ニ他ノ問題ト離シテ之ヲ處理スルコトヲ得ズ貿易ノヨリ大ナル自由ヘノ有效且永續のノ復歸ハ財政及貨幣狀態ノ一般的且永續的ノ改善ヲ伴フニ非ザル限り之ヲ期待シ難キコト恰カモ財政及國際貿易ガ其ノ主要ナル障礙ヨリ解放セラルルコトナキ限り財政及貨幣狀態ノ永久的改善ヲ期待シ得ザルガ如シ

A 關 稅 政 策

仍テ關稅政策ノ關スル限り會議ノ目的ハ關稅輕減ノ爲一般的協定ヲ妥結シ將來ニ於テ一層緩和セラレタル關稅政策ヲ維持セントスルモノナルコトヲ要ス

(一) 關稅引上ノ停止

右目的ノ爲ノ第一努力トシテ關稅及他ノ貿易障碍輕減ノ爲ノ條約調印ニ至ル迄ノ準備的措置トシテ「關稅休戰條約」ノ締結ヲ提言ス

右休戰條約ハ若シ妥結セラレ一般的ニ實施セラルルニ於テハ顯著ナル效果ヲ有スベシ然レ共成功センガ爲ニハ右提議ハ即時ノ實行ニ好都合ナル條件ノ下ニ提出セラレザルベカラス
關稅引上停止ノ爲二方法舉ゲラレタリ

(イ) 一九二九年國際聯盟經濟委員會ニ依リ提案セラレ (C.531. M.185.1929. II) 白耳義、「ルクサ

ンブルグ」及和蘭間ニ締結セラレタル一九三二年六月十八日附經濟障壁低下ノ爲ノ國際條約第一條ニ於テ具體化セラレタルガ如キ嚴密ナル意味ノ關稅休戰條約即チ「ウーシー」條約トシテ知ラルル本條約ニ於テ上記ノ三國ハ條約調印ノ日ヨリ締約國間ニ於テモ將又通商條約ヲ有スル國ニ對シテモ關稅率ヲ引上ザルベキコト及新ニ保護關稅ヲ設ケザルベキコトヲ約束セリ

(ロ) 右ヨリモ彈力性大ナル制度ハ一九三〇年三月二十四日ノ壽府通商協定(C. 203. M. 96. 1930. III) 並ニ白耳義、和蘭及「スカンヂナビヤ」諸國間ニ締結セラレタル「オスロー」協定ノ基礎ヲ爲ス制度ナリ或種ノ例外アルモ右二條約ハ關稅引上ヲ禁止セズ單ニ各締約國ニ對シ其ノ抗議ニモ拘ハラズ他ノ締約國ガ自國ニ有害ナル關稅ノ引上ヲ爲シタルトキハ同條約ヲ廢棄スルノ權利ヲ與フルモノナリ

若シ休戰條約ガ充分迅速ニ且絕對的形式ニ於テ締結スルコトヲ得ルニ於テハ關稅ノ將來ノ引上ヲ防止スルニ最モ有效ナル方法ナルコトハ明瞭ナリ然レ共何レノ休戰條約ニテモ若シ現在ノ程度ニ關稅ヲ固定セシメ如何ニ異常ノモノニテモ現存ノ狀態ハ之ヲ不變ノモノトスルノ結果ヲ招來シ高キニ過グル關稅ノ引下ガ爾後ニ於テ行ハルモノニ非ザルニ於テハ利益ヨリモ寧ロ害惡ノ大ナルモノナルコトヲ指摘セザルベカラズ

何レノ場合ニ於テモ爰ニ提議セル關稅率引上休止ニ關スル協定ハ專ラ關稅政策ノ範圍内ノミニ局限セラレ且國際貿易ニ對スル他ノ障害ガ終局ニ於テ撤廢セラレンガ爲其ノ増大ヲ停止セラルルニ非ザレバ有效ナラザルベキコト明ナリ仍テ之ト同時ニ新ナル障碍ヲ設ケズストノ約束ヲ爲スコト必要ナルベシ

(二) 關 稅 ノ 引 下

一般的關稅引下實行ニハ二方法アリ比率ニ依ル引下ノ方法及一律ノ水準ヘノ引下ノ方法之ナリ右兩者ノ長短ニ付テハ國際聯盟經濟委員會ニ依リ徹底的ニ研究セラレタリ

我等ハ會議ハ右兩者ノ結合ヲ考究セザルベカラズト思考ス尤モ一律ノ機械的ノ様式ニ依ル關稅一般引下ノ企圖ハ甚シキ困難ヲ惹起スルヤモ計ラレザルコトハ明瞭ニ之ヲ認識セザルベカラズ然レ共「ウーシー」條約ハ唯或ル水準迄ノ引下ノミヲ義務的ナリトシツツ比率ニ依ル引下ノ制度ヲ定メタル點ニ於テ右結合ノ先例ヲ爲セリ右方法ハ關稅率ノ水準ヲ低下セントスル努力ヲ示スモノナルガ諸國ノ關稅率水準ノ間ニ存スル差異ヲ消滅セシメザルコトハ之ヲ認メザルベカラズ

(三) 關稅問題ノ特殊事項

(イ) 農產物

關稅引上防止ノ方法又ハ將來ニ於ケル關稅引下實行ノ方法ヲ研究スルニ當リ農產物問題ニ關シ特別ノ考慮ヲ加フルコト必要ナルベシ或ル委員ハ本問題ハ或ル國ノ經濟的及社會的事態ニ影響シ複雜ナル性質ノ困難ヲ惹起スルモノナルコトヲ強調セリ他ノ委員ハ或ル重要ナル消費國ノ實行セル極端ナル農業保護主義ハ主要農產物ノ世界物價低下ノ重要ナル原因ヲ爲シ斯クシテ歐洲ニ於テモ海外ニ於テモ生產國ノ購買力ヲ大ニ減少セシメ工業國ノ生產品吸收力ヲ著シク減少セシメタリト主張セリ

(ロ) 從量稅

物價ガ遙ニ高カリシ時決定セラレタル從量稅ヲ或ハ國內市場ニ於テ或ハ世界市場ニ於テ生ゼル物價下落ヲ考量シテ改正スルコト可能ナリヤ及如何ナル限度ニ於テ可能ナリヤヲ研究スルコトモ亦望マシキコトナルベシ

(ハ) 例 外

關稅ノ引下又ハ安定ノ爲ノ多數國間條約ニ關聯シテ或ル種ノ例外（例ヘバ收入關稅ノ場合ノ如シ）ヲ許容スベキヤ否ヤヲ考究スルコトモ亦望マシカルベシ

(二) 附加稅及課金

或ル場合ニ於テハ附加稅又ハ行政上、統計上若ハ其ノ他ノ性質ノ課金ガ輸入品ニ課セラレ往々ニシテ右稅ガ輕視シ難キ關稅引上ニ等シキコトアルノ事實ニ付注意ヲ拂ヘリ關稅率ノ引下又ハ安定ヲ實現センコトヲ目的トスル措置ニ關シ右稅ヲ考量ニ加ヘザルベカラザルコト提言セラレタリ

(ホ) 關稅品目表ノ統一

統一的ノ關稅品目表（右統一案ハ既ニ國際聯盟經濟委員會ノ斡旋ノ下ニ専門家小委員會ニ依リ作成セラレ諸國政府ニ提示セラレタリ）ヲ速ニ實施スルコトヲ得ルニ於テハ關稅問題ニ關スル國際的活動ノ重大ナル困難ノ或ルモノヲ少カラシムベキコトハ疑ナキヲ以テ會議ハ能フ限り國際聯盟理事會ノ定メタル手續ニ從ヒ右ニ好意的考慮ヲ加ヘンコトノ希望ヲ表明シ右進行中ノ事業ニ付諸國ノ注意ヲ喚起スルコト有益ナルベシ尤モ關稅引下ガ統一的ノ關稅品目表ノ採用（最良ノ場合ニ於テモ長期ヲ要スベシ）迄延期セラルベキニ非ザルコトハ明瞭ナリ

(四) 處 置 方 法

關稅ノ引下ハ左ノ如キ方法ニ依リ實施シ得ベシ
(イ) 會議ノ一般的協定

(ロ) 政府團ノ集合的協定

二國間商議

(ハ) 各別政府ノ自發的行爲

諸國政府ノ忘ルベカラサル目的ハ既ニ述べタル通り其ノ關稅率ノ引下ト一層緩和セラレタル政策ノ採用ナリ右目的ハ素ヨリ獨立ニテモ將又二國間ノ商議ニテモ或ル程度迄ハ達成スルコトヲ得ベシ然レ共右方法ニ依ル行爲ノ價值ハ之ヲ輕視セザルモ現狀ニ於テハ諸國ガ經濟上重要視スベキ他ノ國ノ少ク共多數ト共ニ歩調ヲ揃ヘテ進ミツツアリトノ保障ヲ有スルニ非ザレバ前記道程ニ於テ大ナル進歩ヲ豫期スルコト能ハズ此等諸國ニ右保障ヲ與フル爲一ノ又ハ若干ノ國際協定必要ナリト思惟セラル

會議ノ企圖スヘキ目的ハ明ニ能フ限リ廣汎且綜合的ナル協定ヲ締結スルニアリ理想ハ一切ノ國ノ參加スル協定ナリ

然レ共若シ世界的協定ヲ得ルコト能ハザルニ於テハ尙特定國間ニ締結セラレ一切ノ他ノ國ノ加入ヲ許サルベキ集合的協定ノ途アリ右協定ハ或ハ定メラレタル方針ニ基ク關稅引下ヲ規定スルモノナルコトアルベク或ハ關稅引下ニ付從フベキ原則ヲ一般的ニ定メ右原則ノ適用ハ之ヲ二國間ノ商

議ニ讓ルモノナルコトアルベシ

集合的協定ノ締結ハ第三國ノ權利ノ問題ヲ惹起ス右問題ニ付テハ次節ニ之ヲ論ゼリ

我等ハ手續ノ問題ハ主要ニ非ザルコトヲ指摘スルコトニ一致セリ重要ナル點ハ一切ノ國ガ能フ限リ廣キ基礎ニ於テ關稅障壁及他ノ貿易障碍ヲ減少セシムルノ目的ヲ以テ其ノ努力ヲ合同セシムルコト之ナリ

B 最惠國條款

我等ハ正常ナル場合ニ於テハ無條件且無制限ノ最惠國條款カ國際通商關係ノ基礎ヲ成スベキモノナリト思考ス仍テ我等ハ會議ガ假ニ最惠國條款ノ精密ナル方式ニ付協定ヲ妥結スルニ至ラズトスルモ其ノ及ブ範圍ニ付テハ協定ヲ妥結センコトヲ勸告ス右ニ關シ一九二九年及一九三一年經濟委員會ノ起草セル本條款ニ關スル報告書ヲ參照スルコトヲ要ス

同時ニ最惠國條款ノ適用ニ關スル重要問題即チ關稅率適用ニ關スル輸入額割當、關稅品目表ノ過度ノ細分、不當廉賣及不當廉賣防止手段、物品ノ國籍、「同様ノ」產品並ニ（通貨ノ一切ノ制限ガ撤廢セラルルニ至ル迄ハ）爲替制限、相殺協定及清算協定ノ如キ問題ニ付協定ノ妥結ヲ見ルコト望マシ

尙右ニ關聯シ必要ナリト認メラル最惠國條款ノ例外ニ關シテモ亦合意ノ成立センコト望マシカ
ルベシ恒久的例外ト一時的例外トハ之ヲ區別セザルベカラズ

(イ) 恒久的例外

最惠國條款ニ對スル或種ノ恒久的例外ハ既ニ通商條約ニ於テ慣行トナリ居レリ（國境貿易、關稅同盟等）然レ共他ノ恒久的例外ヲ許容スベキヤ特ニ集合的協定ヨリ生ズル權利ニ付例外ヲ許容スベキヤニ付慎重ナル注意ヲ拂ハザルベカラズ

諸方面ニ於テ強ク主張セラルル意見ハ最惠國條款ノ例外ヲ許容シ以テ多數國間協定ヨリ生ズル利益ノ許與ハ締約國及自發的ニ同様ノ利益ヲ許容スル國ニ之ヲ局限スベキモノナリトス既ニ或ル二國間條約ニ於テ採用セラレタル右意見ハ素ヨリ慎重ニ研究セラレザルベカラズ右意見ヲ支持スル爲此ノ種ノ例外ナキニ於テハ最惠國條款ノ適用ハ集合的協定ノ不參加ヲ有利トスベキヲ以テ集合的協定ノ締結ハ踰エ對キ困難ニ逢着スベシト論ゼラレタリ然レ共他方諸國ノ事情ハ著シク異ルヲ以テ多クノ場合ニ於テ諸國ハ其ノ規定ガ後日適用セラレ之ガ自國ニ及ボスコトアルベキ具體的ノ場合ヲ知ルニ非ザル限り多數國間協定ニ加入シ難キコトアルヲ忘ルベカラズ加之相互ニ對立スル國家團ノ組織ヲ招來シ其ノ結果我等ノ輕減セント欲スル害惡ヲ却テ增大スルノ

危險モアルベシ最後ニ第三國ノ權利侵害ヲ避クル様注意セザルベカラザルコト強調セラレタリ何レニスルモ右例外ニ付テハ此ノ種ノ協定ハ一切ノ利害關係國ノ加入ノ爲開カレアルモノニシテ其ノ目的ハ一般的利益ト調和スベキモノナルベシトノ條件ヲ附セザルベカラズ右目的ノ爲考究セラルベキ條件トシテハ此種協定ハ國際聯盟又ハ國際聯盟ノ指揮下ニアル機關ノ斡旋ノ下ニ締結セラレタルモノナルベシトノ規定ヲ插入スルコト案ナルベシ尙右協定ハ最惠國待遇ノ權利ヲ有スル國ニ對スル國際貿易ノ新障礙ヲ包含スルモノナルコトアルベカラズ最後ニ「集合的協定」ハ參加國ノ數ニ關シ決定セラルベキ或ル條件ヲ含ム場合ニ於テノミ之ヲ集合的ナリト看做スコトヲ得ベキモノナリ

會議ハ一切ノ國ノ利益ト調和スベキ本問題ノ全般ニ對スル解決ヲ見出ス爲努力セザルベカラズ
(ロ) 一時的例外

會議ハ又現在ノ事態ニ在リテハ最惠國待遇ノ權利ノ餘リニ窮屈ナル固執ハ或ル場合ニハ經濟的進歩ノ途上ニ困難（一時的例外ヲ許容スルコトニ依リ除去シ得ベキモノナリ）ヲ生ゼシムルノ虞ナキヤヲ考究スルコトヲ要ス

然レ共右問題ニ關シテハ最モ慎重ナル注意必要ニシテ何等カノ一般的結論ヲ爲スコトハ困難且

危險ナリト感ゼリ各別ノ場合ニ付慎重ナル考慮ヲ加ヘ第三國ニ對スル差別待遇ヲ避ケザルベカラズ

右ニ關シ「ダニユーブ」沿岸諸國ガ或ル購買國ト締結セル穀物ノ限定セラレタル數量ニ關シ特別ノ利益ヲ與フル特別協定ニ注意セラレザルベカラズ會議ハ上記ノ協定ノ實施ヲ許シ他國ノ利益ヲ害スルコトナク「ストレザ」會議ノ勸告ヲ實行スルコトナルベキ最惠國條款ノ一時的例外ヲ許容スルコト（尤モ一層廣汎ナル協定ニ依ル小麥市場ノ恢復ヲ阻害スルコトナキヲ要ス）ヲ得ザルヤ否ヤヲ考究スルコトヲ要スト委員ノ大部分ハ主張セリ

尤モ或ル委員ハ上記ノ如キ特惠ハ他ノ穀物生産國ニ取り有害ナルベシト信ゼリ右措置ガ他國ノ利益ヲ害セザルコトヲ條件トシ此等諸國ノ或ルモノノ爲特別ノ措置ヲ講ズルコトモ考へ得ベシト雖モ其ノ實行ハ可能ナリトハ見エズ蓋シ自國ノ需要ニ充分ナル穀物ヲ生産セザル國ノ穀物消費力ニ鑑ミルニ直接又ハ間接ニ或ル國ヨリ購買セラルル數量ニ對スル特惠ニ依リ右特惠享有國ガ比較的低キ價格ヲ以テ其ノ產品ヲ提供シ得ルコトナリタル結果改善ガ得ラルルトスルモ右改善ハ世界市場ガ著シク縮少シタル時ニ當リ他ノ生産國ヨリノ購買ヲ同程度ニ減少セシムルコトトナルベキヲ以テナリ最後ニ此等委員ハ假令一時的ナリトスルモ最惠國條款ノ例外ハ勸奨スト

ベカラザル惡例ナリト思考セリ

他ノ委員ハ此等議論ノ當否ヲ爭フコトハ之ヲ欲セザルモ「ダニユーブ」沿岸諸國ニ於テ購買セラルル穀物ノ數量増加問題ハ物價ヲ妥當ナル水準ニ引上ゲントスル問題ニ比較スレバ重要ナラザルモノナリト主張セリ尙此ノ方法ニ依リ價格ノ釣上ゲラルル數量ハ輸入國ノ消費ニ對シ極メテ小ナル割合ヲ示スニ過ギザルベシ

第六、生産及交易ノ組織化

我等ノ中或者ハ國際貿易ノヨリ大ナル自由ハ現在ノ恐慌ニ對スル唯一ノ救濟策ニ非ザルコト、恐慌ハ生産並ニ分配ニ關スル甚ダシキ混亂ノ存スルコトヲ曝露スルニ至レルコト及此點ニ關シ破產ニ瀕シタル經濟組織ノ恢復ノ爲ニハ各國政府ノ協力カ必要ナルコトヲ感ジタリ

我等ハ生産並ニ貿易ノ特定部門ニ於テ各國政府ガ一致共同スルコトハ生産者ノ諸階級ニヨリ既ニ成サレタル努力ヲ容易ナラシメ且之ヲ調整スル上ニ於テ將又不當ニ偏狹ナル國家的見解ニ依リ促進セラレタル干渉ガ一般的經濟情勢ノ上ニ及ボセル不幸ナル結果ヲ緩和スルニ於テ共ニ效果アルモノナリトノ見解ヲ有ス

(一) 經 濟 協 定

現任ノ恐慌ハ國際的諸經濟協定ヲ試練ノ俎上ニ上セタリ此等協定ノ或者ハ既ニ解消シ去リ、比較的強固ナルモノハ依然存續セルガ他方事態ノ壓迫ノ下ニ新ナル協定ノ締結ヲ見ルニ至レリ勿論或ル場合ニ於テハ經濟的諸協定ハ少クトモ一時物價ヲ維持シ安定セントスルノ效アリキ此等ハ混亂ノ禍中ニ在ツテ秩序ノ一要素ヲ表示シタルモノニシテ所謂「安全ノ島」ヲ成シタリ此等ハ或種ノ生産品及或ル國ノ場合ニ於テハ確ニ紛議及報復ヲ阻止シ關稅引上ヲ避クル上ニ貢獻スル所アリタリ

然ルニ他ノ一面ニ於テ此等協定ハ其ノ排除シタル競争ノ影響ヲ全體トシテノ經濟組織ノ上ニ、就中此等協定アル產業ニ直接依存スル非「カルテル」化產業ノ上ニ轉嫁セリトノ反對論ガ唱ヘラレタリ又此等協定ハ現存ノ事態ヲ固定セシメ從テ經濟界ノ自然的進化ニ逆行スルモノナリトノ非難ヲ加ヘラレタリ

孰レニセヨ經濟協定ハ生産並ニ貿易ノ極メテ重要ナル要素ヲ成スニ至レルヲ以テ各國政府ニ於テハ其ノ國內的及國際的經濟政策樹立ニ當リ此等協定ヲ顧慮セザルヲ得ザルニ至レリ
經濟協定ニ關聯シテ諸國政府ノ採ル可キ態度ニ關シテ論議スルハ我等ノ任務ニ非ズ一般的ニ論ズ

ルニ國際的經濟協定ハ若シ其ノ形成ニシテ此等協定ヲ以テ產業組織ノ既ニ進歩シタル段階ナリトスル關係生産者ノ發意ト自由討議ニ委サルルニ於テハ一層多ク成功ノ望ミヲ有スベシト思惟ス然レ共我等ノ或者ハ諸國政府ハ來ル可キ會議ノ機會ヲ有用ニ利用シテ此等諸協定ニ關聯シ其ノ採擇ス可キ態度ヲ討議スルコトヲ得ベシト思考シタリ此種ノ討議ハ協定ノ締結ヲ容易ナラシムルコトヲ得ベク特ニ重要產物ノ生産並ニ交易ノ組織化ヲ強固ナラシムル爲各國政府ノ干渉ガ必要トセラル場合、特ニ生産者ガ現在自ラ其ノ生産品ノ生産並ニ分配ヲ調節スルノ地位ニ在ラザル場合ニ於テハ協定ノ締結ヲ容易ナラシムルコトヲ得ベシ

小麥ノ場合ニ付諸國政府間ノ協定ノ望マシキコト右ノ論據ニ基キテ主張セラレタリ

(二) 小 麥

小麥ノ生産及輸出ヲ列國政府間ノ協定ニ依リ調節セントスルノ問題ハ近來既ニ國際的討議ノ題目トナリ既ニ壽府、巴里、羅馬及倫敦ニ於テ更ニ最近ハ「ストレザ」ニ於テ研究セラレタリ既ニ研究セラレタル諸提案ノ總テノ中ニ於テ倫敦ニ於テ爲サレタル提案ハ我等ノ特別ノ注意ヲ喚起シタリ當時ニ於テハ輸出制限ノ制度ノミヲ適用スベキコトガ提議セラレ、現ニ尙此ノ提案ノミヲ固執スル者アルモ他方ニ於テ此ノ提案ハ諸國協定ニ依ル耕作地域ノ制限ト結合セラルベキナリ

ト考フル者モアリ我等ハ供給ガ需要ニ對シ自然的ニ適應シ得ザリシ爲メニ蓄積シタル變態的ナル貯藏量ヲ漸次吸收スルノ手段トシテ重要輸出國ニ於ケル耕作地域ノ縮少並ニ輸入國ニ於ケル其ノ制限ニ關シ亞爾然丁國政府ノ興味アル示唆ヲ受ケタリ

此ノ提案ニ假令如何ナル實際的困難アリトスルモ會議ハ現存事態ノ重大性ニ鑑ミ從來ノ會議ノ教訓ヲ考慮シ又適當ナル専門的機關ヲ誘ツテ政府トノ協力ヲ爲サシムルコトニ依リ此ノ提案ヲ細心ニ審議スベシ

(三) 其他ノ生産品

生産並ニ販賣ニ付キ多少ノ程度ニ於テ政府ノ管理ニ服スル或種物品特ニ木材及石炭ニ關シテ諸種ノ國際的協定ガ既ニ企テラレタリ

木材ニ關シテハ一九三二年四月壽府ニ於テ專門家會議開催セラレ次デ六月ニハ「ウインナ」ニ於テ國際會議行ハレ同會議ニ於テ五生產國（奧太利、波蘭、「チエッコスロヴァキア」、羅馬尼亞、「ユーゴースラ、ヴィア」）ノ代表ヨリ成ル恒久的木材委員會ガ構成セラレ此等諸國ヨリノ生産總額ヲ制限シ輸入諸國トノ間ニ協定ヲ締結センガ爲現ニ商議續行中ナリ

石炭ニ關シテハ國際聯盟經濟委員會ノ發意ニ基キ專門家ハ一九二九年以來壽府ニ於テ屢々會合ヲナリ

ナセリ

國際的機關ノ創設ニ關スル提案ハ炭坑夫側ヨリ慾漬セラレツツアルモ一九三〇年一月行ハレタル其最後ノ會議以來何等ノ進展ヲナサザルモノノ如シ

右兩個ノ場合ニ付會議ハ政府ノ協力ニ依リ從來生産者ガ到達シ能ハザリシ協定ノ締結ニ導クヲ得ザルヤ否ヤヲ考慮スベシ何レノ場合ニ於テモ經濟恐慌ノ有效ナル解決ニ資スル爲斯カル協力ノ目的ハ單ニ生産國ノ利益ヲ調整スルコトニ止マラズ更ニ消費國ノ利益ヲモ保護スルコトニ存スベキ以テナリ

(四) 運輸

考慮セラルベキ諸協定ノ一トシテ會議ハ海、陸又ハ河川運輸ニ關シテ協定ヲ締結スルコトノ不可能ナルヤ否ヤヲ確ムルニ努ムベシ蓋シ此等運輸ニ關スル協定ハ運輸制度ノ經濟的條件ヲ改善シ現在運輸ノ或種方法ノ場合ニ於テ國家豫算ニ對スル重荷トナリ居レル負擔ヲ著シク低減セシムルヲ以テナリ

船舶業ニ關シテハ國民ノ商業用船舶ニ對スル直接又ハ間接ノ補助金及國民ノ造船業ニ對スル獎勵金ニ關聯シテ最モ緊急ナル問題ガ提起セラル

右政策ハ現在ノ國際貿易ニ要セラルヨリモ遙カニ巨大ナル噸數ノ建造及維持ノ原因トナリ之ガ爲多數國ニ於テハ造船業ハ國民經濟ノ繁榮ニ資センヨリハ寧ロ却ツテ其ノ重荷トナルニ至レリ我等ハ政府補助金ナル非經濟的政策カ存續スル限り造船業ノ健全ナル狀態ノ復歸ハ不可能ナリトスル最近國際商業會議所ニ於テ開催セラレタル船主會議ノ決議ニ贊同スル者ナリ過度ノ干渉ヲ加ヘントスル右政策ハ諸國政府間ノ協定ニヨリ抑制セラルルヲ要ス同時ニ老朽船舶ノ廢棄、現存船舶ノ利用及新船ノ建造ニ關シテ協定ヲ遂グルノ可能ナルコトモ思考シ得ラルベシ

同様ニ空中輸送ニ關シテモ國家又ハ他ノ公共團證ニ依リ許與セラルル補助金ハ空中運輸會社ノ所得中可成リノ部分ヲ占メ此分野ニ於テモ船舶業ニ於ケルト同様ニ補助金ハ競爭ヲ特ニ耐エ難キモノトナセリ

鐵道運輸ニ關シテ少クトモ歐羅巴大陸ニ於テハ鐵道運賃ノ方法ニ依ル國民的經濟利益ノ間接的保護ニ對シ確定的ナル限度ヲ設クヘキ協定ニ到達スルコトノ可能ナリヤ否ヤヲ確ムル爲努力セラルベキナリ最後ニ國際貿易ノヨリ大ナル自由ノ爲會議ニ於テ何等カノ進展ガ成就セラルルニ於テハ當然ニ河川及道路ニ依ル國際運輸ニ關シテモ一層自由主義的ナル政策ノ採擇ニ至ル可シ蓋シ此等

兩個ノ運輸手段ノ經濟的重要性ハ絶エズ增加シツツアルヲ以テナリ

* * * *

國際貨幣經濟會議ハ素ヨリ各個ノ問題ニ付キ餘瀧ナキ討議ヲ行フノ地位ニ在ラズ若シ或政府ニシテ或種生産品又ハ勞務ニ關スル協定ニ付討議ヲ試ミント欲スルニ於テハ其ノ意圖ヲ遲滞ナク通告シ以テ理事會委員會又ハ國際聯盟經濟委員會若ハ交通通過委員會ヲシテ主要利害關係者ヲ代表セル専門家ニ右協定締結ノ可能性及其ノ條件ヲ遲滞ナク考究スル様要請セシメ得ンコト望マシカルベシ

A N N E X.

LISTE DES MEMBRES DE LA COMMISSION PRÉPARATOIRE DES EXPERTS.

LIST OF MEMBERS OF THE PREPARATORY COMMISSION OF EXPERTS.

President: M. Leonardus J. A. TRIP (Pays-Bas), Président de la Banque néerlandaise, Amsterdam.

A. Experts désignés par les gouvernements:

Experts designated by Governments:

Allemagne M.H.E. POSSE, Directeur au Ministère de l'Economie publique
Germany du Reich, Berlin.

M. Wilhelm VOCKE, Membre du Conseil de la Reichsbank,
Berlin.

M. Emile FRANCQUI, Ministre d'Etat, ancien Ministre des
Finances, Bruxelles.

M. V. VAN LANGEHOVE, Secrétaire général du Ministère
des Affaires étrangères, Bruxelles.

Royaume-Uni United Kingdom	Sir Frederick W. LEITH-ROSS, K.C.B., K.C.M.G., Chief Economic Adviser to the British Government, Board of Trade, Lond.
Etats-Unis d'Amérique	Sir Frederick PHILLIPS, K.C.M.G., C.B., Under-Secretary at the Treasury, London.
Chine China	M.T.Y.I.O., Ministre de Chine au Danemark, Copenhague.
Inde India	M. Edmund E. DAY, Director of Social Science, Rockefeller Foundation, New York.
Italie Italy	Mr. John H. WILLIAMS, Professor of Economics at Harvard University, Cambridge (Mass.).
France	M. Charles RIST, Professeur à la Faculté de droit, Sous-Gouverneur honoraire de la Banque de France, Paris.
	M. Jean PARMENTIER, Directeur général honoraire au Ministère des Finances, Paris.

Supplément:

Inde India	M. Paul ELBEL, Directeur des accords commerciaux au Ministère du Commerce, Paris.
London.	Sir Cecil KISCH, Financial Adviser to the India Office,
	M. Alberto BENEDUCE, Président de l'Institut national de crédits pour les œuvres d'utilité publique, Rome.

M. Giuseppe TASSINARI, Président de la Confédération générale agricole, Rome.

Supplément:

Japon Japan	M. G. GUARNERI, Directeur de la Confédération des sociétés par actions, Rome.
	M. Hiroyuki KAWAI, Minister Plenipotentiary and Envoy Extraordinary, Warsaw.
	M. Juichi TSUCHIMA, Financial Commissioner of the Imperial Japanese Government, London.

*B. Experts désignés par le Conseil:**Experts designated by the Council:*

1. Pour les questions financières :

For Financial Questions:

M. Léon BARANSKI (Pologne), Directeur de la Banque de Pologne, Varsovie.
M. Jean MUSY (Suisse), Conseiller fédéral, Chef du Département fédéral des Finances et des Douanes, Berne.

- M. Risto RYTI (Finlande), Gouverneur de la Banque de Finlande, Helsinki.
2. Pour les questions économiques :
- For Economic questions :
- M. Jan DVORACEK (Tchécoslovaquie), ancien ministre du Commerce, Directeur de la "Zivnostenska Banka", Prague.
- M. Alfred DE NICKL (Hongrie), Ministre plénipotentiaire, Directeur des Accords Commerciaux au Ministère des Affaires étrangères, Budapest.
- M. Raul PREBISCH (Argentine), ancien Sous-Secrétaire d'Etat au Ministère des Finances, Banque nationale d'Argentine, Buenos-Ayres.
- C. Experts désignés par la Banque des Règlements internationaux :
- Experts designated by the Bank for International Settlements :
- M. Leonardi J. A. TRIP (Pays-Bas), Président de la Banque néerlandaise, Amsterdam.
- M. Léon FRASER (Etats-Unis d'Amérique), Vice-Président de la Banque des Règlements internationaux, Bâle.
- D. Expert invité par la Commission préparatoire avec l'approbation du Comité d'organisation du Conseil ;
- Expert invited by the Preparatory Commission, with the approval of the Council Organising Committee :
- M. G. JAHN (Norvège), Président du Comité norvégien de la monnaie et des changes, Oslo.
- Les organisations internationales suivantes ont participé aux travaux de la Commission préparatoire :
- The following International Organisations took part in the work of the Preparatory Commission :
1. Organisation internationale du Travail :

International Labour Organisation :

Délégation :

M. WEIGERT, Directeur au Ministère du Travail (Berlin).

M. OERSTED, Directeur du Bureau des Confédérations patronales des quatre pays du Nord, Vice-Président du Conseil d'Administration du Bureau international du Travail.

M. JOUHAUX, Secrétaire général de la Confédération générale du Travail (Paris), Membre du Conseil d'administration du Bureau international du Travail.
 2. Institut international d'Agriculture (Rome) :

International Institute of Agriculture (Rome) :

Délégué :

M. DE MICHELIS, Ambassadeur, Sénateur de Royaume d'Italie, Président de l'Institut.
-